

発生土置き場について
【別冊資料編】

目次

(1) 発生土置き場計画地で実施した地質調査結果.....	1
1) ボーリング位置図	1
2) 各発生土置き場におけるボーリング結果.....	5
3) ボーリング柱状図・地質断面図	6

令和6年9月

東海旅客鉄道株式会社

(1) 発生土置き場計画地で実施した地質調査結果

1) ボーリング位置図

・各発生土置き場候補地において、平成25年から令和4年にかけて鉛直ボーリングを行いました(図1～図6)。これらの調査結果に基づき、設計に必要な地盤モデルを作成しております。

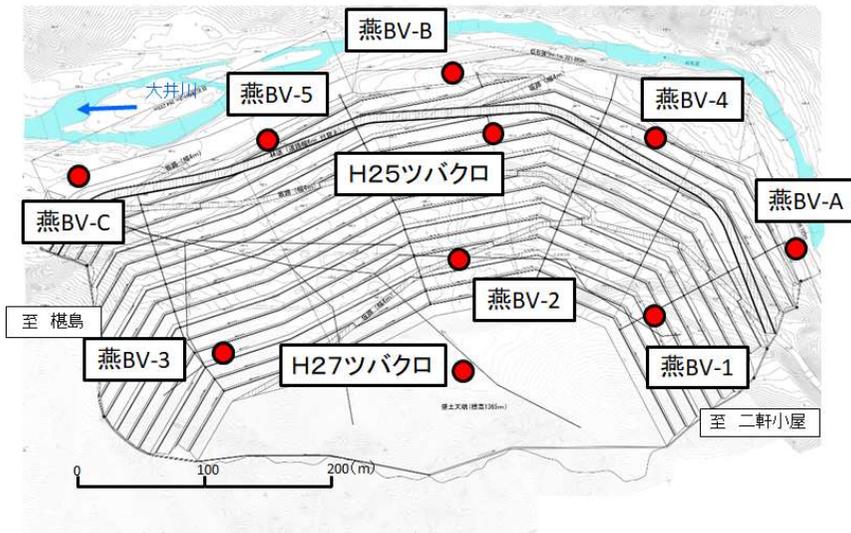


図1 ツバクロ発生土置き場ボーリング位置図

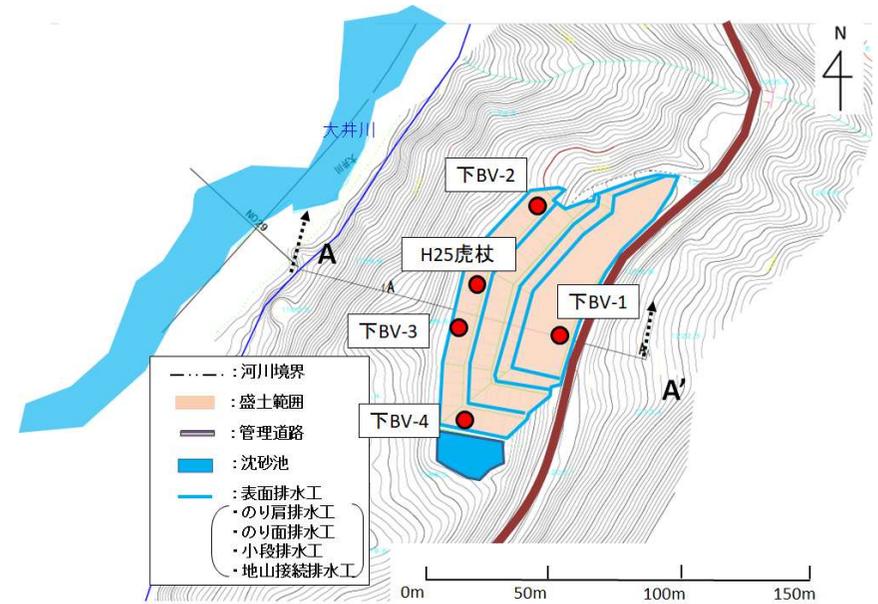


図2 イタドリ発生土置き場ボーリング位置図

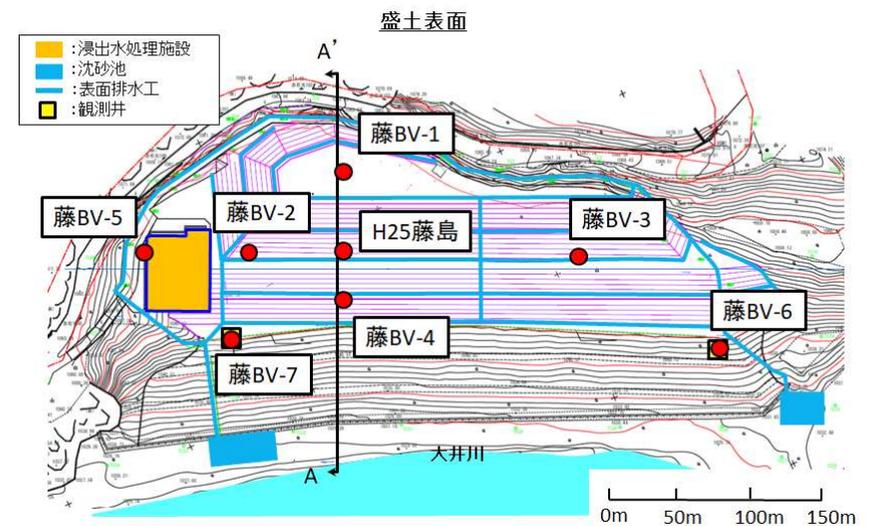


図3 藤島発生土置き場ボーリング位置図

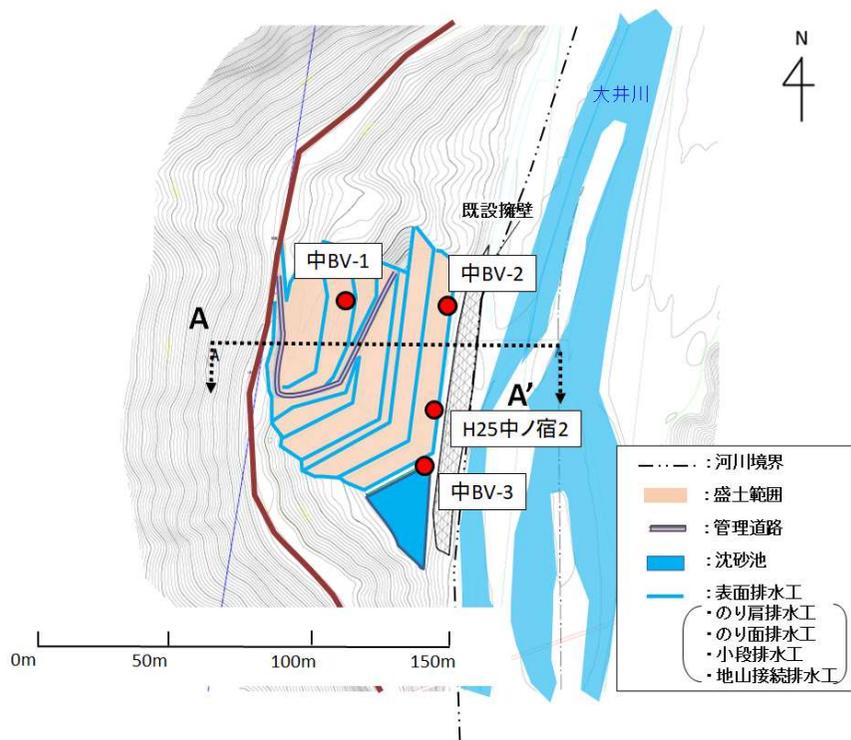


図 4 中ノ宿2発生土置き場ポーリング位置図

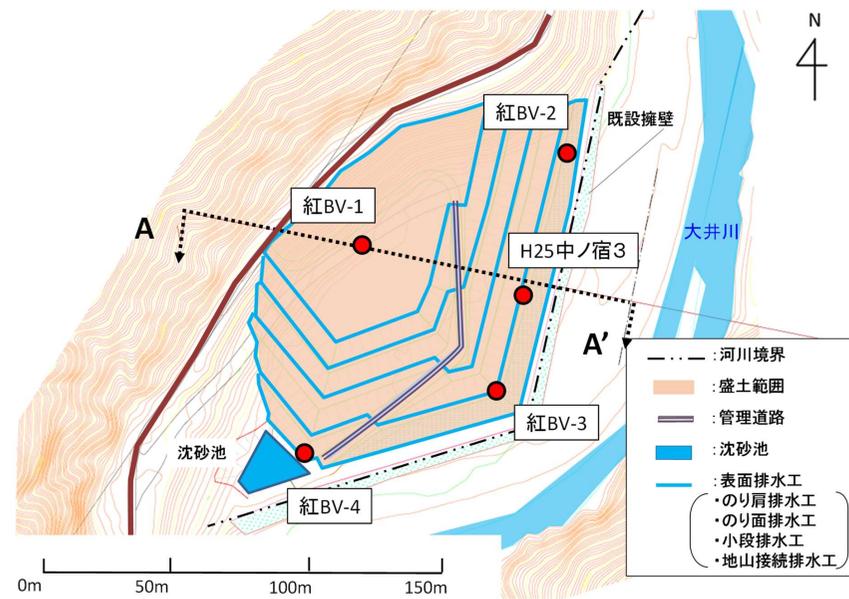


図 5 中ノ宿3発生土置き場ポーリング位置図

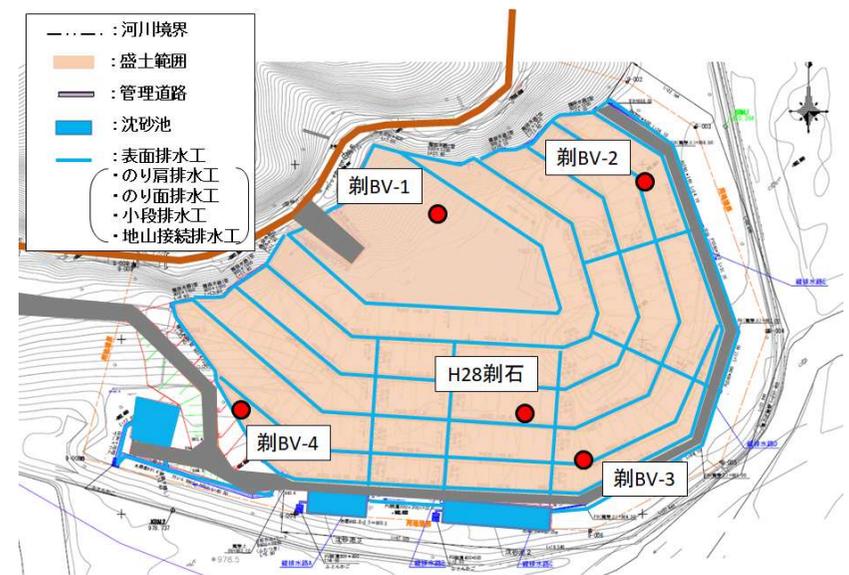


図 6 刺石発生土置き場ポーリング位置図

2) 各発生土置き場におけるボーリング結果

〈ツバクロ発生土置き場〉

- ・主となる玉石砂礫層は、玉石等の巨礫を主体とした地質で構成され、標準貫入試験によるN値は大半が50以上で局所的に30程度を示す部分もあります。その下は岩盤（粘板岩）が構成され、堅硬な地盤となっています。
- ・一方で、N値が10程度の低い値を示す地質も一部確認されており、H25ツバクロにて地表部に約2.5mの厚さで人工的な埋土層が存在していること、燕BV-1にて地上から約11～12.5mの区間で液状化する可能性がある粘性土質礫層が挟在していることが分かったため、当該層を考慮した安定検討を実施します。

〈イタドリ発生土置き場〉

- ・主となる玉石砂礫層は、玉石等の巨礫を主体とした地質で構成され、標準貫入試験によるN値は30～50程度となっております。その下は岩盤（粘板岩）が構成され、堅硬な地盤となっています。
- ・発生土置き場の設計に特別な考慮が必要な弱層等は確認されておりません。

〈藤島発生土置き場〉

- ・既設盛土より以深は河床堆積物と崖錐堆積物を主とする層により構成され、標準貫入試験によるN値はおおむね50を超えております。その下は岩盤（粘板岩）が構成され、堅硬な地盤となっています。
- ・一方、既設盛土の一部の地層で地耐力の弱い層が確認されており、地盤改良を実施することで必要な強度を満足する計画とします。

〈中ノ宿2発生土置き場〉

- ・表層から30m程度、玉石混じりの砂礫層が続きます。そのうち表層から5m程度はN値10程度の層ですが、5m以深は河床堆積物と崖錐堆積物を主とする層により構成され、標準貫入試験によるN値はおおむね50を超えております。その下は岩盤（粘板岩）が構成され、堅硬な地盤となっています。
- ・発生土置き場の設計に特別な考慮が必要な弱層等は確認されておりません。

〈中ノ宿3発生土置き場〉

- ・中ノ宿2発生土置き場と同様に、表層から30m程度、玉石混じりの砂礫層が続きます。そのうち表層から5m程度はN値10程度の層ですが、5m以深は河床

堆積物と崖錐堆積物を主とする層により構成され、標準貫入試験によるN値はおおむね50を超えております。その下は岩盤（粘板岩）が構成され、堅硬な地盤となっています。

- ・発生土置き場の設計に特別な考慮が必要な弱層等は確認されておりません。

〈剝石発生土置き場〉

- ・主に河床堆積物と崖錐堆積物を主とする玉石混じりの砂礫層により構成され、標準貫入試験によるN値はおおむね50を超えております。その下は岩盤（粘板岩）が構成され、堅硬な地盤となっています。
- ・発生土置き場の設計に特別な考慮が必要な弱層等は確認されておりません。

3) ボーリング柱状図・地質断面図

- ・各発生土置き場の柱状図及びツバクロ発生土置き場の地質断面図をそれぞれ次ページ以降に添付いたします。

ボーリング柱状図 (H25ツバクロ)

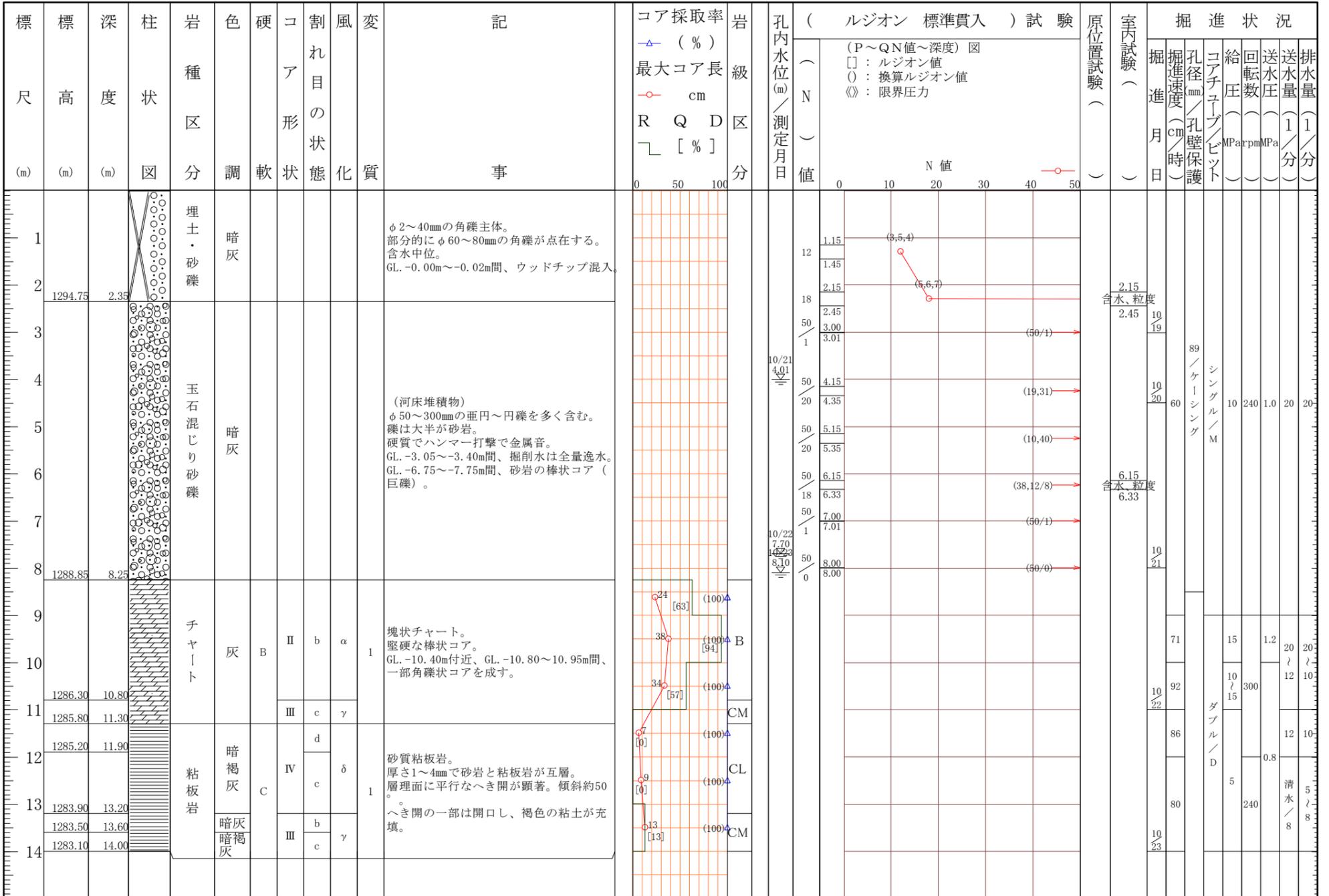
調査名

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	H25ツバクロ	調査位置	静岡市葵区内			北緯	35° 28' 39.13"				
発注機関		調査期間	平成 25年 10月 19日 ~ 25年 11月 23日			東経	138° 13' 56.3"				
調査業者名		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者						
孔口標高	1297.1m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90°	水平 0°	使用機種	D0-D	
総掘進長	14.00m	度	0°	向		エンジン	ヤンマー製 NFD90		ポンプ	BG-3C	



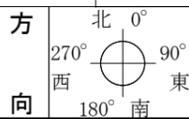
ボーリング柱状図 (燕BV-A)

調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	燕BV-A		調査位置	静岡県葵区田代地内				北緯	35° 28' 45.22"							
発注機関					調査期間	平成 29年 6月 10日 ~ 29年 6月 22日		東経	138° 14' 1.37"							
調査業者名				主任技師			現場代理人			ボーリング責任者						
孔口標高	1301.618m	角			方	北 0°		地盤勾配	鉛直 90°		使用機種	試錐機 YBM-05		ハンマー	落下用具 半自動落下	
総掘進長	25.00m	度	180° 上 90° 下 0°		向	北 0° 西 180° 東 90° 南		エンジン	NS75		ポンプ	MS-154A				

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠密度	相対稠密度	記号	標準貫入試験						原位置試験	試料採取	室内試験 (掘進月日)		
									深 (m)	10cmごとの打撃回数			打撃回数 / 貫入量 (cm)					N 値	深 (m)
								GL. -0.00~0.15m間、表土	6/12 1.00	50/2		50/2	750						
1									6/12 1.02										
2									2.10 50/3			50/3	500						
3									2.13 3.00 貫入不能			50/0							
4									6/13 3.14 3.00 貫入不能			50/0							
5									6/14 4.03 4.00 貫入不能			50/0							
6								GL. -5.00~11.00m間、L=60~150mmの玉石主体。L=200mmの玉石も点在。礫は砂岩>粘板岩。チャート、緑色岩も点在。	6/15 5.00 5.03	50/3		50/3	500						
7								GL. -6.15m付近、全量逸水。GL. -7.70 ~7.75m間、基質の砂は赤褐色に変色。	6.05 50/4			50/4	375						
8									6.09 7.00 50/3			50/3	500						
9									7.03 8.00 50/4			50/4	375						
10									8.04 9.10 50/4			50/4	375						
11									9.14 10.05 50/3			50/3	500						
12									10.08 11.05 50/4			50/4	375						
13									11.09 12.10 貫入不能			50/0							
14									12.10 13.00 50/2			50/2	750						
15									13.02 14.05 50/3			50/3	500						
16									14.08 15.05 50/5			50/5	300						
17									15.10 16.00 50/2			50/2	750						
18									16.02 17.00 貫入不能			50/0							
19									17.00 18.05 50/3			50/3	500						
20									18.08 19.05 50/2			50/2	750						
21									19.07 20.00 50/1			50/1	1500						
22								岩級区分=CM~CL 葉理の発達した砂質粘板岩。GL. -19.50~20.00m間、著しく砂質で葉理不明瞭。GL. -20.00~25.00m間、葉理面はほぼ垂直。葉理面に平行な鉛直割れ目が発達。GL. -20.85~20.95m間、軟質で細礫化。	20.01										
23																			
24																			

ボーリング柱状図 (燕BV-B)

調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	燕BV-B		調査位置	静岡県葵区田代地内			北緯	35° 28' 38.81"				
発注機関				調査期間	平成 29年 6月 23日 ~ 29年 6月 29日			東経	138° 13' 53.46"			
調査業者名				主任技師				現場代理人				
孔口標高	1294.895m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	YBM-05	ハンマー 落下用具	半自動落下
総掘進長	11.00m	度	0°	向				エンジン	NS75	ポンプ	MS-154A	

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠密度	相対稠密度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取 番号	室内試験 (土密・粒 含度)	掘進 月日
										深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数 0 10 20 〃 〃 〃	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10						
1	1.70	1.70		砂礫	暗褐色			φ10~40mmの礫主体。最大礫径90mm。掘進中全量逸水。	6/26 5.22	1.15	6	6	10	22	22		1.15		土密・粒含度	6/24
2				玉石混じり砂礫	暗褐色			L=100~300mmの玉石主体。最大礫長1000mm。礫は砂岩が最も多く、粘板岩、チャートも認められる。掘進中全量逸水。		1.45	12	16	22	50	65		1.45		土密・粒含度	6/25
3										2.15	50		50	150			3.10			6/26
4										3.10	50		50	150			3.20			6/26
5										3.20	50		50	150						6/26
6										4.00	50		50	150						6/26
7										4.01	50		50	150						6/26
8										5.15	16	34	50	94						6/26
9										5.31	50		50	750						6/26
10										6.00	50		50	750						6/26
11										6.02	50		50	150						6/27
										7.00	50		50	150						6/27
										7.01	50		50	150						6/27
										8.00	50		50	150						6/27
										8.01	50		50	150						6/27
										9.00	50		50	750						6/27
										9.02	50		50	750						6/27
										10.00	50		50	150						6/27
										10.01	50		50	150						6/27
										11.00	50		50	750						6/27
										11.02	50		50	750						6/27

ボーリング柱状図 (燕 BV-C)

調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	燕 BV-C		調査位置	静岡県葵区田代さわら島地内			北緯	35° 28' 30.41"			
発注機関				調査期間	平成 29年 6月 28日 ~ 29年 7月 6日			東経	138° 13' 53.16"		
調査業者名				主任技師				現場代理人			
コア鑑定者				試験機	YBM-05			ハンマー落下用具	半自動落下		
エンジン				試験機	NS75			ポンプ	MS-154A		
孔口標高	1286.034m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 南 90° 東	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種			
総掘進長	15.00m	度	0°	向							

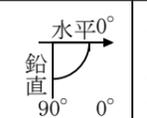
標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験 (月日)	掘進 (月日)					
												深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深 (m)						採取番号	採取方法			
1285.63	0.40	0.40			埋土・碎石	暗灰				φ20~50mmの碎石。	7/3 1.15	5	5	12	22	22										
1276.13	9.50	9.90			玉石混じり砂礫	暗褐灰				L=100~200mmの玉石主体。礫は砂岩を主体とし、粘板岩、緑色岩・チャート礫も認められる。基質は細粒分の少ない粗粒砂~細礫。 GL.-2.45~3.63m間、玉石少なく砂礫状主体。最大礫径100mm。 GL.-4.50~6.85m間、玉石少なく砂礫状主体。最大礫径200mm。 GL.-8.45~9.90m間、基質少なく殆ど玉石からなる。	7/3 1.45	50			50	30										
1275.03	1.10	11.00			礫状破砕帯・粘板岩	黒灰				葉理の発達した粘板岩。葉理の傾斜 70~80°。	7/3 2.05	9			9	167										
1273.78	1.25	12.25			砂状破砕帯・粘板岩	黒灰				GL.-11.45~12.25m間、傾斜30° 前後のへき開発達し、指圧でφ5mm以下に細片細片化しやすい。	7/3 2.14	16	13	11	40	40										
1273.33	0.45	12.70			礫状破砕帯・砂岩	青灰				GL.-12.25~12.70m間、割れ目が密に発達し、φ30~50mmの菱形状~角礫状。岩片は軟質で脆い。	7/3 3.15	13	13	16	42	42										
1272.53	0.80	13.50			砂状破砕帯・砂岩	青灰				GL.-12.70~13.50m間、傾斜30° 前後のへき開発達し、指圧でφ5mm以下に細片化しやすい。	7/3 3.45	50			50	375										
1271.33	1.20	14.70			礫状破砕帯・砂岩	青灰				GL.-13.50~14.70m間、割れ目が密に発達し、φ30~50mmの角礫状をなす。	7/3 4.00	50			50	1500										
1271.03	0.30	15.00			砂岩	暗灰				塊状の中粒砂岩。	7/3 4.04	50			50	1500										
											7/3 5.15	13	13	16	42	42										
											7/3 5.45	50			50	1500										
											7/3 6.00	1			1	1500										
											7/3 7.05	50			50	1500										
											7/3 8.15	7	13	25	45	45										
											7/3 8.45	50			50	214										
											7/3 9.05	50			50	214										
											7/3 9.12	50			50	214										
											7/3 10.15	50			50	300										
											7/3 11.00	50			50	214										
											7/3 11.05	50			50	214										
											7/3 12.00	50			50	375										
											7/3 13.04	50			50	300										
											7/3 14.00	50			50	500										
											7/3 14.05	50			50	500										
											7/3 15.00	50			50	500										
											7/3 15.03	50			50	500										

土質ボーリング柱状図（燕BV-1）

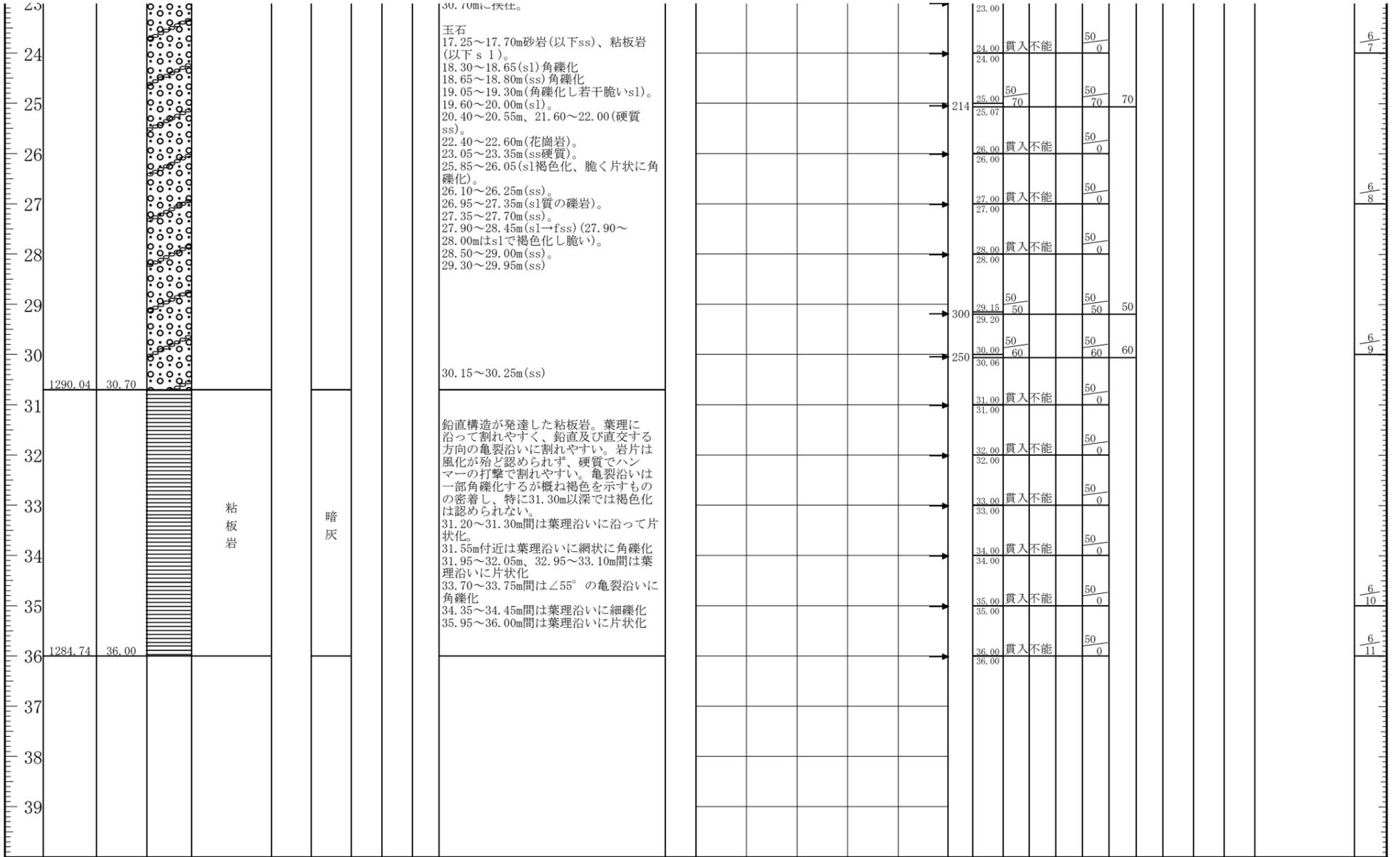
調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		燕BV-1		調査位置		静岡県静岡市葵区 燕沢		北緯		35° 28' 42"	
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日		東経		138° 14' 5"	
調査業者名		主任技師		現代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高		T. P. 1320.74m		方位				使用機種		試錐機 鉦研製OP-1	
総削孔長		30.00m		角度				エンジン		ヤンマーNFAD12	
								ポンプ		ヤンマーCP-30	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	深 度 (m)	試料採取番号	採取方法	室内位置試験	削孔月日								
												N 値	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量														
1						暗褐				0.00~0.50m腐植土。	05/30 1.02																			
2				玉石混じり砂礫						径200mm以上の玉石を含む砂礫。径200mm以上の玉石は2~3mに1~2個程度。礫種は粘板岩細~中粒礫岩で、粘板岩も比較的しっかりしたものが多く。砂岩礫は硬質。粘性土分(黄褐色)も多く含有し、極めて不均質。礫率80%以上(見た目岩砕)。礫種は70%以上が片状角礫粘板岩、砂岩20~25%他、緑色岩片を含むほぼ角礫主体で垂円礫は数~10%ほど。礫径もばらつきが大きく、5~60mmでほとんど淘汰されていない。	06/09 66.91																			
3				玉石混じり砂礫						3.75~4.00m: 硬質細砂岩片。																				
4				砂礫						4.00~4.30m: 亀裂性粘板岩5cmほどに割れ、数10mm~30mm																				
5				砂礫						4.30~4.40m: 褐色砂岩礫																				
6				砂礫						4.70~5.00m: 径50~100mm大の砂岩、粘板岩、礫岩の角礫																				
7				砂礫						8.75~8.95m: 粘板岩岩片(硬質)。																				
8				砂礫						9.30~10.00m: 細粒砂岩、粘板岩互層片(粘板岩が割れて10~30mmの角礫状)。																				
9				砂礫						玉石の混入少ない砂礫主体。																				
10	1310.64	10.10		シルト						含水率が著しく高い礫混じりシルト~粘土主体																				
11	1309.74	11.00		玉石混じり砂礫						最大10cmの玉石混じり砂礫																				
12	1309.24	11.50		シルト						含水率が著しく高い礫混じりシルト~粘土主体																				
13	1308.74	12.00		砂礫						径200~700mmの玉石を不規則に含む不均質な砂礫。玉石は17.26m以浅より大型化また含有率も高い。玉石は1mに、2、3~5個程度と多く、概ね硬質。玉石は、粘板岩、砂岩、緑色岩が同程度に混入。	06/08 14.50																			
14	1308.24	12.50		砂礫						粘板岩は風化し若干褐色したものが多く、脆く、細かく割れたものが多く認められる。	15.76																			
15				砂礫						砂礫は礫分多く、礫率50%以上。礫種は片状の粘板岩片が多く、70%以上。砂岩が20~25%、若干のチャートと緑色岩片を含む(数%以下)、不均質で5~60mm径の角礫~垂円礫が数%程度。基質は少なく細~粗砂混じりの砂質シルトで不均質。黄褐色の粘性土が目立つ部分がある。	06/10 17.07																			
16				砂礫						黄褐色粘土は、17.70~18.00m、19.40~19.60m、20.00~20.40m、20.90~21.00m、21.30~21.50m、22.30~22.40m、20.60~20.65m、25.40~25.50m、26.25~26.30m、30.05~30.70mに挟在。	06/09 18.21																			
17				砂礫						玉石	06/09 20.40																			
18				砂礫						17.25~17.70m砂岩(以下ss)、粘板岩	06/09 20.40																			

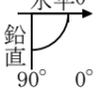


土質ボーリング柱状図（燕BV-2）

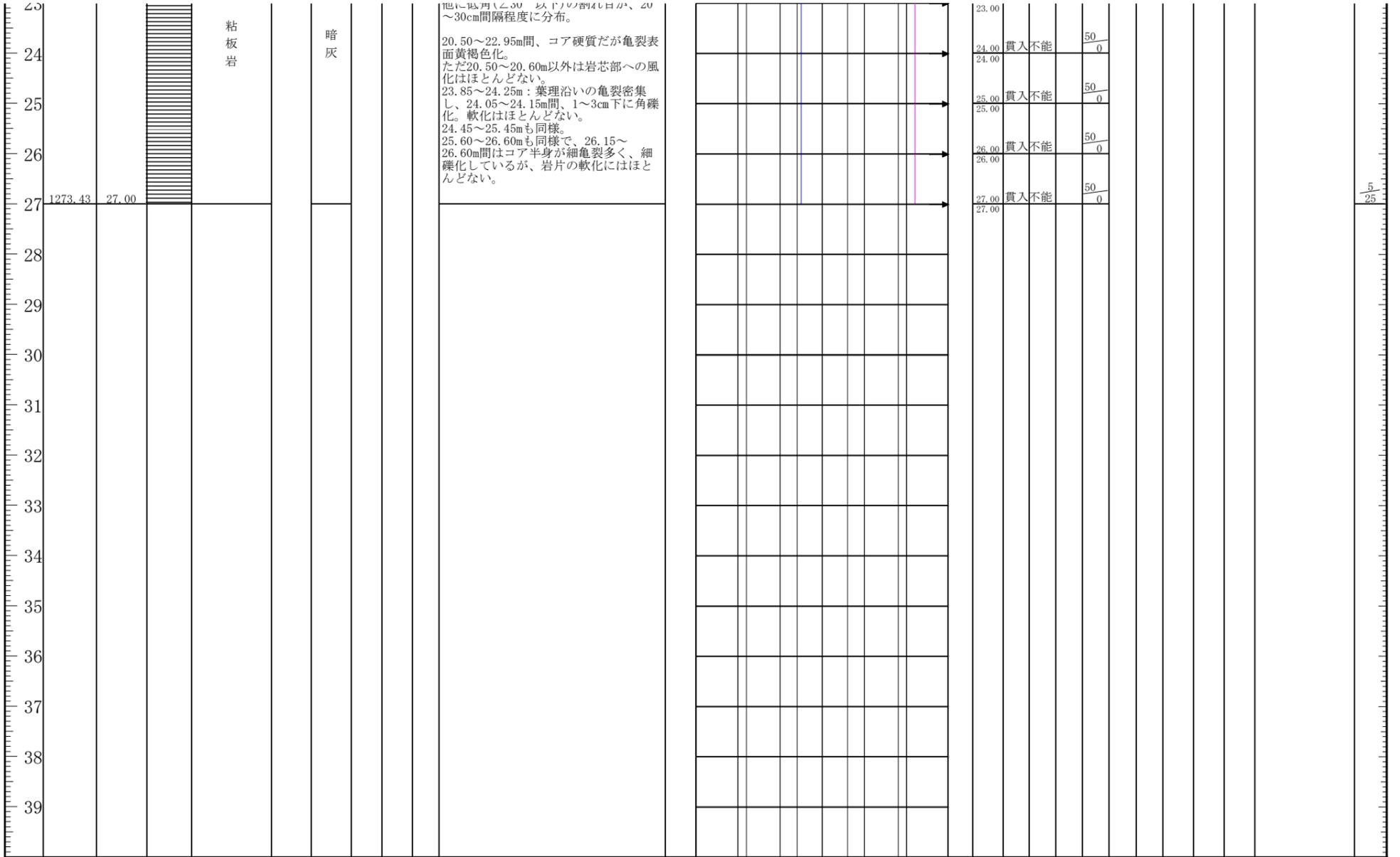
調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		燕BV-2		調査位置		静岡県静岡市葵区 燕沢		北緯		35° 28' 37"	
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日		東経		138° 13' 59"	
調査業者名		主任技師		現代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高		T. P. 1300.43m		方位				使用機種		試錐機 鈦研製OP-1	
総削孔長		27.00m		地盤勾配				エンジン		ヤンマーNFAD12	
								ポンプ		ヤンマーCP-30	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室原位試験	削孔月日		
												N	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量	深 度 (m)
1										径10~140cmの砂岩、粘板岩玉石を不規則に含む砂礫。玉石は硬質な砂岩。80%「粘板岩、緑色岩各10%ほど。径の大きい玉石はほぼ砂岩(ss)。	05/16 6.87	貫入不能	50	0						5/16	
2											05/24 4.11	2.00	50	50	50					5/17	
3											05/18 5.43	3.00	30	50	30						
4											05/20 6.37	4.00	50	50	50						
5											05/24 8.18	5.15	6	16	28	50	230	230			
6				玉石混じり砂礫						砂礫淘汰悪く礫率40~60%。径5~50mm角礫主体で、不均質径10mm以下は亜円礫主体。礫種、片状~角礫状粘板岩60%、砂岩30%前後他。基質、細礫粗砂混じり砂質シルト~シルト質粘性で不均質。	05/24 8.18	6.15	10	11	9	30	300				
7										0.00~0.10m、腐食物及び植物片のみ~0.30m は土壌化。	05/24 8.18	7.15	10	12	15	37	300				
8											05/24 8.18	8.15	4	1	45	50	230	230			
9											05/24 8.18	8.38	50	50	50	50	50				
10											05/24 8.18	9.00	50	50	50	50	50				
11											05/24 8.18	9.05	50	50	50	50	50				
12											05/24 8.18	10.00	50	50	50	50	50				
13											05/24 8.18	10.05	50	50	50	50	50				
14											05/24 8.18	11.15	50	80	50	80	80				
15	1285.43	15.00		砂礫						玉石の混入少ない砂礫。土質は上位層と殆ど変化なし。	05/24 8.18	12.00	貫入不能	50	0						
16	1284.43	16.00									05/24 8.18	12.00	貫入不能	50	0						
17				玉石混じり砂礫							05/24 8.18	13.00	30	50	30	30					
18										21.00~21.17m間、岩盤中の亀裂。亀裂沿いに角礫化。含水多く径5~30mmの砂岩角礫主体。基質は砂質シルトで黄褐色示し、緩い。	05/24 8.18	14.00	50	50	100	100					
19											05/24 8.18	14.10	50	50	100	100					
20	1279.93	20.50									05/24 8.18	15.15	9	9	9	27	300				
21				粘板						ほぼ鉛直の 理構造の粘板岩。風化弱く、一部細礫化(風化ではない)しているが、概ね棒状~片状の粘板岩。	05/24 8.18	16.15	21	29	60	50	160	160			
22										20.50~22.75mは、細砂質で硬質コアは棒状基本多く、片~棒状で一部角礫化。他に低角(≦30°以下)の割れ目が、20~30cm間隔程度に分布。	05/24 8.18	16.31	32	18	20	50	120	120			
23										20.50~22.95m間、コア硬質だが亀裂表示	05/24 8.18	17.15	貫入不能	50	0						
24											05/24 8.18	17.27	貫入不能	50	0						
25											05/24 8.18	18.00	貫入不能	50	0						
26											05/24 8.18	19.15	50	90	50	90	90				
27											05/24 8.18	19.24	20.15	13	18	19	50	240	240		
28											05/24 8.18	20.39	21.00	14	36	70	50	170	170		
29											05/24 8.18	21.17	22.00	貫入不能	50	0					
30											05/24 8.18	22.00	23.00	貫入不能	50	0					
31											05/24 8.18	23.00	24.00	貫入不能	50	0					



土質ボーリング柱状図 (燕BV-4)

調 査 名

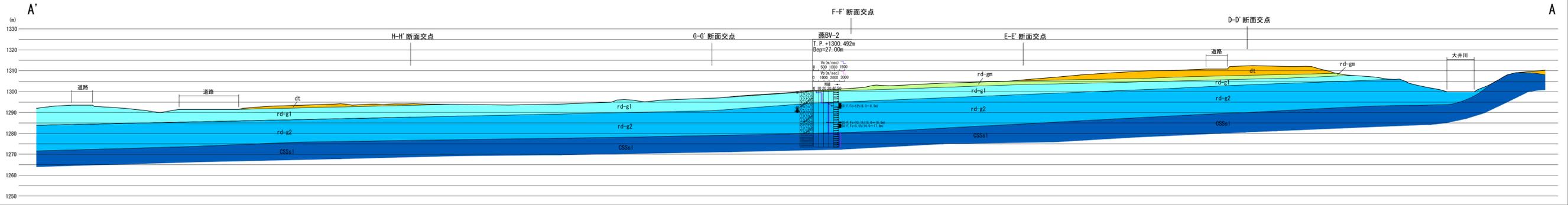
事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

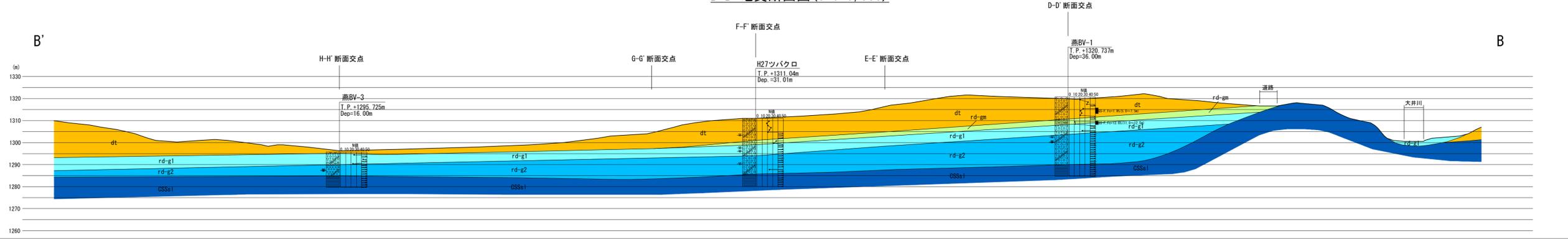
ボーリング名	燕BV-4	調査位置	静岡県静岡市葵区 燕沢			北緯	35° 28' 44"
発注機関	東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所	調査期間	2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日			東経	138° 13' 58"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	T. P. 1300.15m	角	180° ↑ 90° ↓	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°
総削孔長	15.00m	使用機種	試錐機 鈦研製OP-1		エンジン	ヤンマーNFAD12	ポンプ ヤンマーCP-30

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取		室内位置試験	削孔月日				
												深度 - N値図						深 度 (m)	試料番号			採取方法			
												N	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量								
1				玉石混じり細礫		暗灰色				径100mm以上の玉石を含む不均質な砂礫。径100~300mm玉石を1mに概ね2~3個含有。玉石はφ100~300mm最大400mm。岩種は礫質な砂岩(50%)、粘板岩(40%)、礫岩(10%)。砂礫は5~40mm主体で、最大径70mm、角礫~亜角礫主体で、亜円礫を10%程度含む。岩種は粘板岩60%、砂岩30%、他緑色岩及びチャートを10%含む。礫はほとんど淘汰されており、極めて不均質。礫は砂岩チャートは硬質だが、粘板岩は軟質化したものが多く、概ねハンマーの軽打で容易に割れ、一部は岩芯まで褐色化している。基質部は、中~粗砂混じりシルト極めて不均質。	06/02 1.80	750	1.00 1.02	50 20	50 20	20								6/1	
2				玉石混じり細礫		暗灰色				砂礫は5~40mm主体で、最大径70mm、角礫~亜角礫主体で、亜円礫を10%程度含む。岩種は粘板岩60%、砂岩30%、他緑色岩及びチャートを10%含む。礫はほとんど淘汰されており、極めて不均質。礫は砂岩チャートは硬質だが、粘板岩は軟質化したものが多く、概ねハンマーの軽打で容易に割れ、一部は岩芯まで褐色化している。基質部は、中~粗砂混じりシルト極めて不均質。	06/06 1.80	167	2.00 2.09	50 90	50 90	90							6/2		
3				玉石混じり細礫		暗灰色				砂礫は5~40mm主体で、最大径70mm、角礫~亜角礫主体で、亜円礫を10%程度含む。岩種は粘板岩60%、砂岩30%、他緑色岩及びチャートを10%含む。礫はほとんど淘汰されており、極めて不均質。礫は砂岩チャートは硬質だが、粘板岩は軟質化したものが多く、概ねハンマーの軽打で容易に割れ、一部は岩芯まで褐色化している。基質部は、中~粗砂混じりシルト極めて不均質。	06/06 3.03	500	3.00 3.03	50 30	50 30	30							6/3		
4				玉石混じり細礫		暗灰色				砂礫は5~40mm主体で、最大径70mm、角礫~亜角礫主体で、亜円礫を10%程度含む。岩種は粘板岩60%、砂岩30%、他緑色岩及びチャートを10%含む。礫はほとんど淘汰されており、極めて不均質。礫は砂岩チャートは硬質だが、粘板岩は軟質化したものが多く、概ねハンマーの軽打で容易に割れ、一部は岩芯まで褐色化している。基質部は、中~粗砂混じりシルト極めて不均質。	06/07 4.07	214	4.00 4.07	50 70	50 70	70							6/4		
5				玉石混じり細礫		暗灰色				砂礫は5~40mm主体で、最大径70mm、角礫~亜角礫主体で、亜円礫を10%程度含む。岩種は粘板岩60%、砂岩30%、他緑色岩及びチャートを10%含む。礫はほとんど淘汰されており、極めて不均質。礫は砂岩チャートは硬質だが、粘板岩は軟質化したものが多く、概ねハンマーの軽打で容易に割れ、一部は岩芯まで褐色化している。基質部は、中~粗砂混じりシルト極めて不均質。	06/07 5.06	250	5.00 5.06	50 60	50 60	60							6/5		
6				玉石混じり細礫		暗灰色				0.00~0.05m: 礫混じり腐植質砂質シルト、草木根含有。暗褐色。 0.65~0.85m: 硬質砂岩。 1.02~1.40m: 硬質砂岩。 1.60~1.75m: 亀裂性の硬質砂岩。亀裂表面赤褐色。 1.85~2.00m: 若干脆い粘板岩。 2.65m、3.50m: 直径5.00cmの亜鉛礫混入。 8.65m: 砂質の玉石中に淡灰色で厚さ1.00cmの粘土薄層が充填。	06/07 6.85	750	6.00 6.02	50 20	50 20	20									6/6
7				玉石混じり細礫		暗灰色				0.00~0.05m: 礫混じり腐植質砂質シルト、草木根含有。暗褐色。 0.65~0.85m: 硬質砂岩。 1.02~1.40m: 硬質砂岩。 1.60~1.75m: 亀裂性の硬質砂岩。亀裂表面赤褐色。 1.85~2.00m: 若干脆い粘板岩。 2.65m、3.50m: 直径5.00cmの亜鉛礫混入。 8.65m: 砂質の玉石中に淡灰色で厚さ1.00cmの粘土薄層が充填。	06/07 7.09	167	7.00 7.09	50 90	50 90	90									6/7
8				玉石混じり細礫		暗灰色				0.00~0.05m: 礫混じり腐植質砂質シルト、草木根含有。暗褐色。 0.65~0.85m: 硬質砂岩。 1.02~1.40m: 硬質砂岩。 1.60~1.75m: 亀裂性の硬質砂岩。亀裂表面赤褐色。 1.85~2.00m: 若干脆い粘板岩。 2.65m、3.50m: 直径5.00cmの亜鉛礫混入。 8.65m: 砂質の玉石中に淡灰色で厚さ1.00cmの粘土薄層が充填。	06/07 8.01	1500	8.00 8.01	50 10	50 10	10									6/8
9	1291.05	9.10		玉石混じり細礫		暗灰色				0.00~0.05m: 礫混じり腐植質砂質シルト、草木根含有。暗褐色。 0.65~0.85m: 硬質砂岩。 1.02~1.40m: 硬質砂岩。 1.60~1.75m: 亀裂性の硬質砂岩。亀裂表面赤褐色。 1.85~2.00m: 若干脆い粘板岩。 2.65m、3.50m: 直径5.00cmの亜鉛礫混入。 8.65m: 砂質の玉石中に淡灰色で厚さ1.00cmの粘土薄層が充填。	06/07 9.02	750	9.00 9.02	50 20	50 20	20									6/8
10				粘板岩		暗褐色				∠60~70°の高角葉理面が発達する風化粘板岩。葉理面と直交亀裂沿いに片状に割れやすい短棒~片状コア。亀裂面は褐色化し、岩芯まで風化もコア外形は残存。概ねハンマーの軽打で容易に割れ、一部は細礫化。厚さ1~6cmの細~中粒砂岩の薄層が発達し(1mに数枚)、砂層部は比較的硬質。	06/07 10.04	375	10.00 10.04	50 40	50 40	40								6/8	
11				粘板岩		暗褐色				∠60~70°の高角葉理面が発達する風化粘板岩。葉理面と直交亀裂沿いに片状に割れやすい短棒~片状コア。亀裂面は褐色化し、岩芯まで風化もコア外形は残存。概ねハンマーの軽打で容易に割れ、一部は細礫化。厚さ1~6cmの細~中粒砂岩の薄層が発達し(1mに数枚)、砂層部は比較的硬質。	06/07 11.02	750	11.00 11.02	50 20	50 20	20								6/8	
12				粘板岩		暗褐色				∠60~70°の高角葉理面が発達する風化粘板岩。葉理面と直交亀裂沿いに片状に割れやすい短棒~片状コア。亀裂面は褐色化し、岩芯まで風化もコア外形は残存。概ねハンマーの軽打で容易に割れ、一部は細礫化。厚さ1~6cmの細~中粒砂岩の薄層が発達し(1mに数枚)、砂層部は比較的硬質。	06/07 12.03	500	12.00 12.03	50 30	50 30	30								6/8	
13				粘板岩		暗褐色				∠60~70°の高角葉理面が発達する風化粘板岩。葉理面と直交亀裂沿いに片状に割れやすい短棒~片状コア。亀裂面は褐色化し、岩芯まで風化もコア外形は残存。概ねハンマーの軽打で容易に割れ、一部は細礫化。厚さ1~6cmの細~中粒砂岩の薄層が発達し(1mに数枚)、砂層部は比較的硬質。	06/07 13.00		13.00 13.00	50 0	50 0	0								6/8	
14				粘板岩		暗褐色				∠60~70°の高角葉理面が発達する風化粘板岩。葉理面と直交亀裂沿いに片状に割れやすい短棒~片状コア。亀裂面は褐色化し、岩芯まで風化もコア外形は残存。概ねハンマーの軽打で容易に割れ、一部は細礫化。厚さ1~6cmの細~中粒砂岩の薄層が発達し(1mに数枚)、砂層部は比較的硬質。	06/07 14.00		14.00 14.00	50 0	50 0	0								6/8	
15	1285.15	15.00		粘板岩		暗褐色				∠60~70°の高角葉理面が発達する風化粘板岩。葉理面と直交亀裂沿いに片状に割れやすい短棒~片状コア。亀裂面は褐色化し、岩芯まで風化もコア外形は残存。概ねハンマーの軽打で容易に割れ、一部は細礫化。厚さ1~6cmの細~中粒砂岩の薄層が発達し(1mに数枚)、砂層部は比較的硬質。	06/07 15.00		15.00 15.00	50 0	50 0	0								6/8	

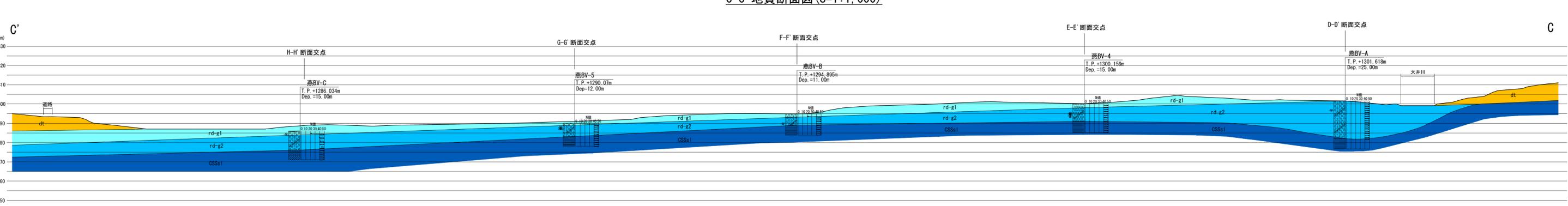
A-A' 地質断面図 (S=1:1,000)



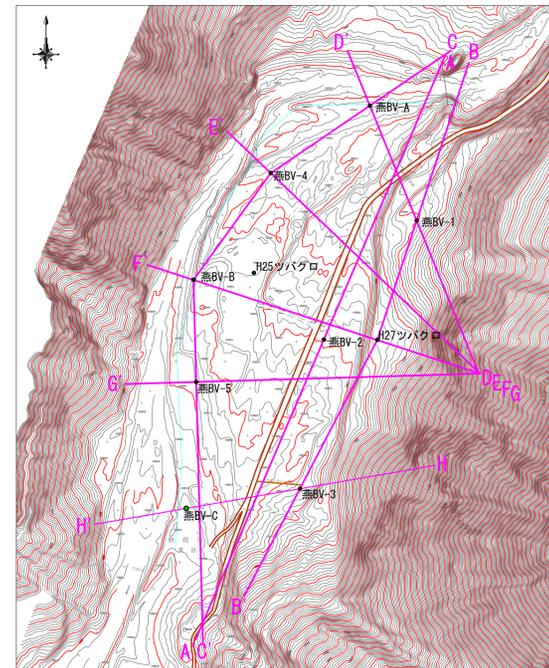
B-B' 地質断面図 (S=1:1,000)



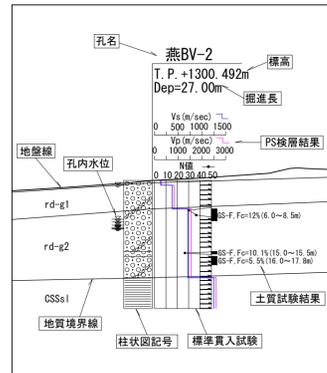
C-C' 地質断面図 (S=1:1,000)



断面位置図 (S=1:4,000)



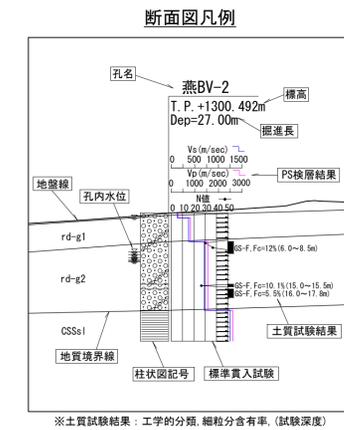
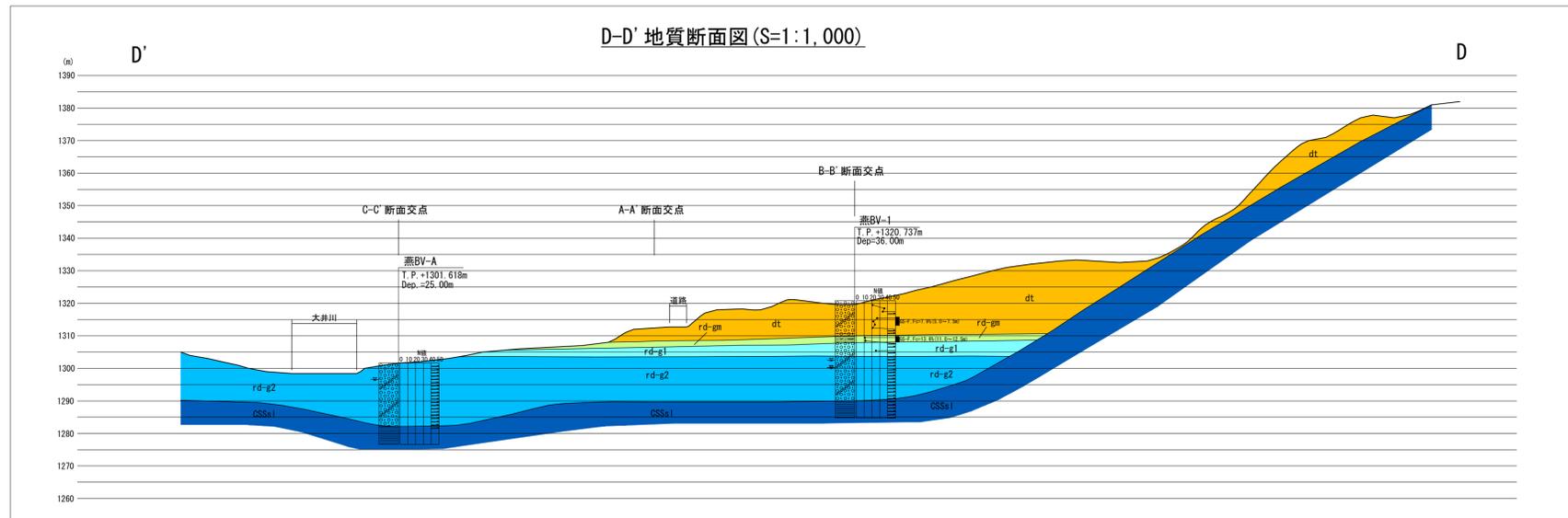
断面図凡例



地質構成表 (ツバクロ地区)

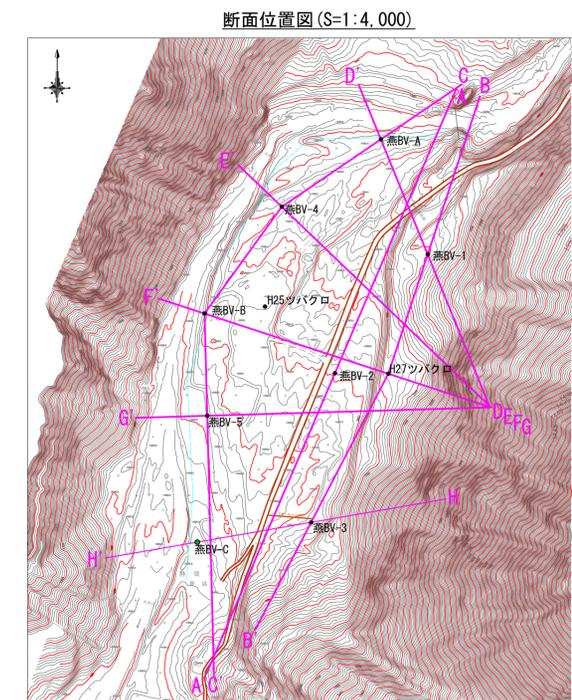
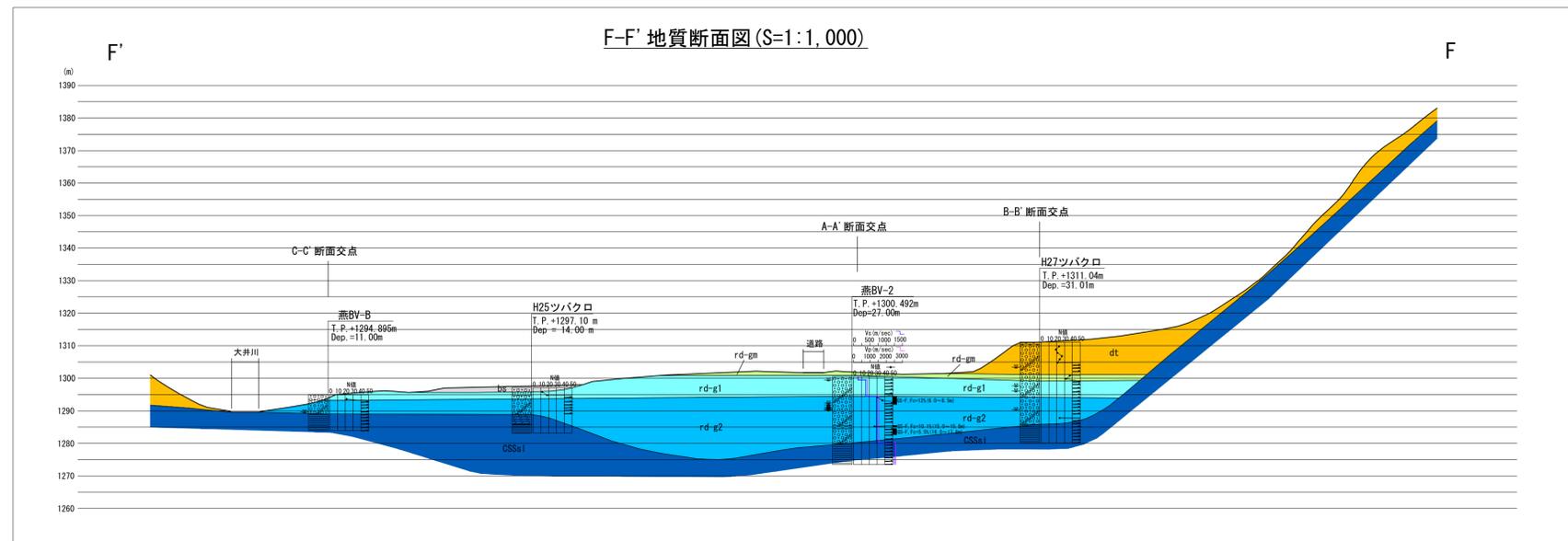
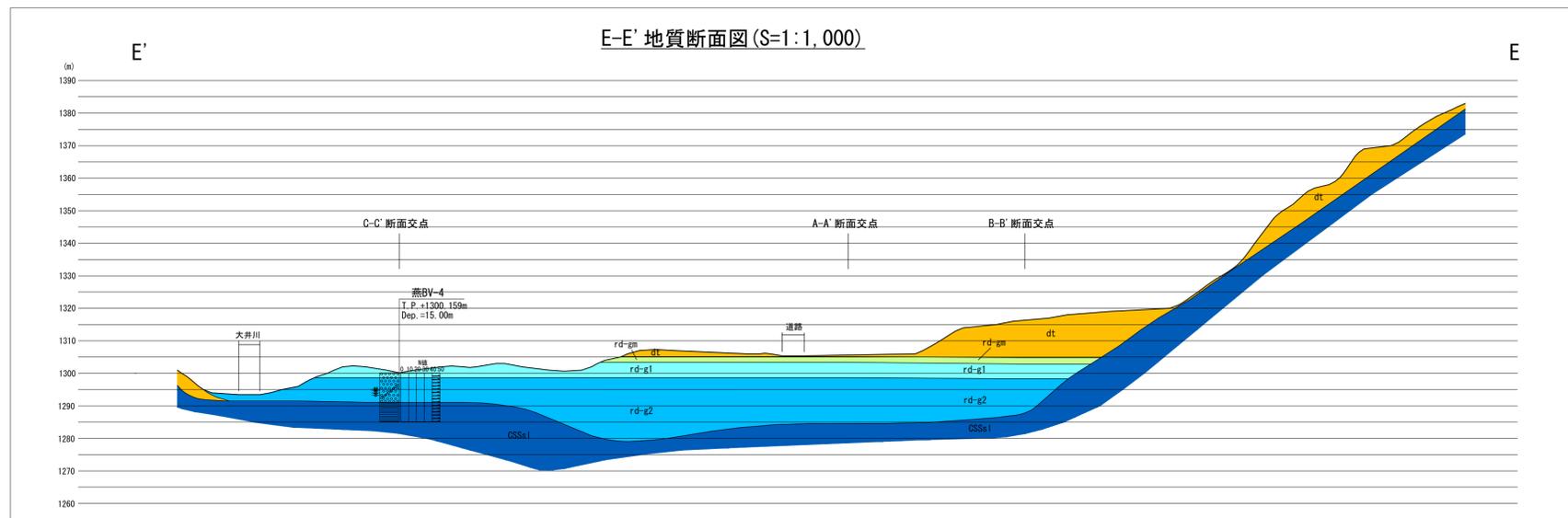
時代区分	地質名	細区分	記号	土質・岩相・N値
第四紀	盛土・埋土		bs	角礫主体の砂礫からなり、N値は概ね20以下の中位に密に締まった土層。
		崖錐・沖積錐堆積物	dt	玉石混じり砂礫からなり、N値10~30程度の緩い~中位に密に締まった土層。
	河床堆積物	(粘性土質礫層)	rd-gm	砂礫主体だが基質にシルトや粘土を多く混入し、N値10前後を示すやや緩い土層。
		(玉石砂礫層1)	rd-g1	玉石混じり砂礫からなり、N値は概ね30以下の中位に密に締まった土層。
		(玉石砂礫層2)	rd-g2	最大1mを超える玉石を多く混入する砂礫で、N値50以上の密~非常に密に締まった土層。
更新世	段丘堆積物	tr	標高1315m前後の斜面裾の平坦面を構成する可能性があるが、崖錐堆積物に一括した。	
古第三紀~中生代白亜紀	四万十層群白根帯	粘板岩	CSSs1	粘板岩を主体として砂岩やチャートの薄層状。岩片は非常に硬質だが高角度の劈開に沿った亀裂が発達し、一部は開口性亀裂で細粒分を挟む。

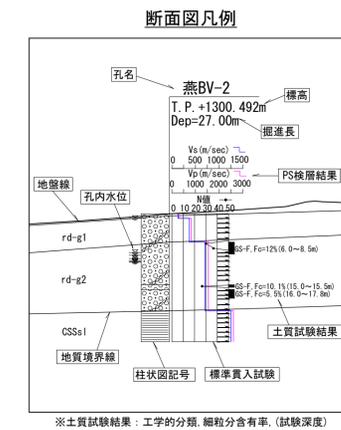
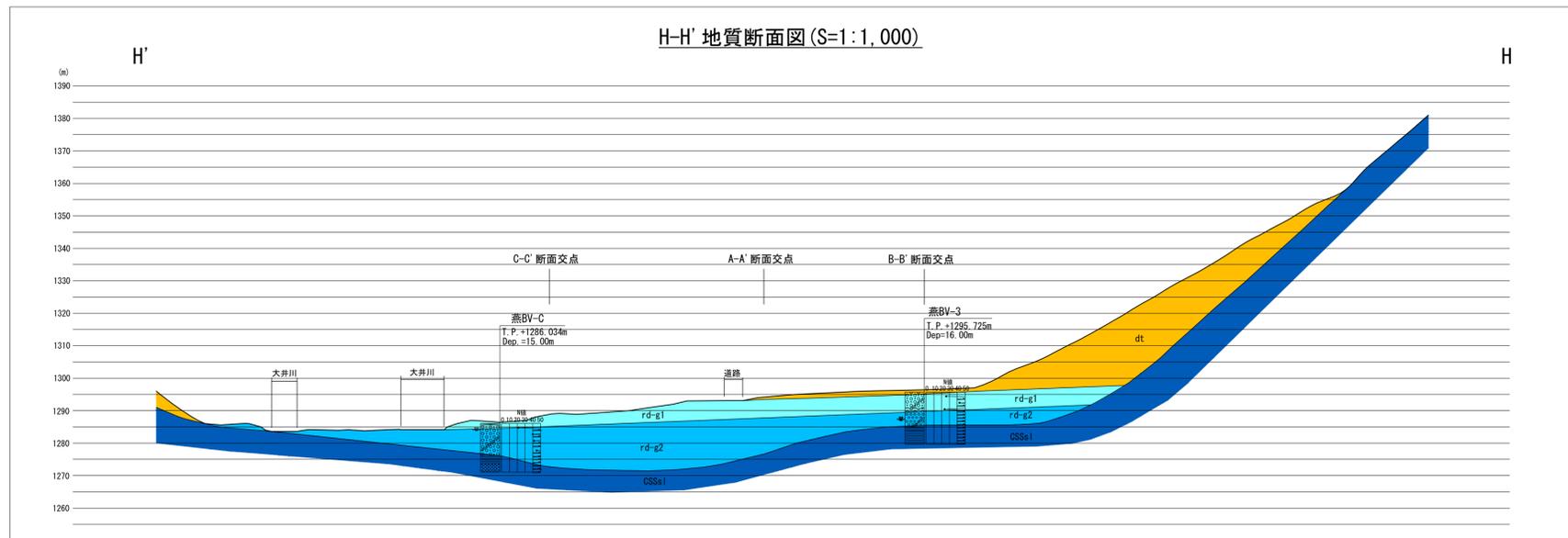
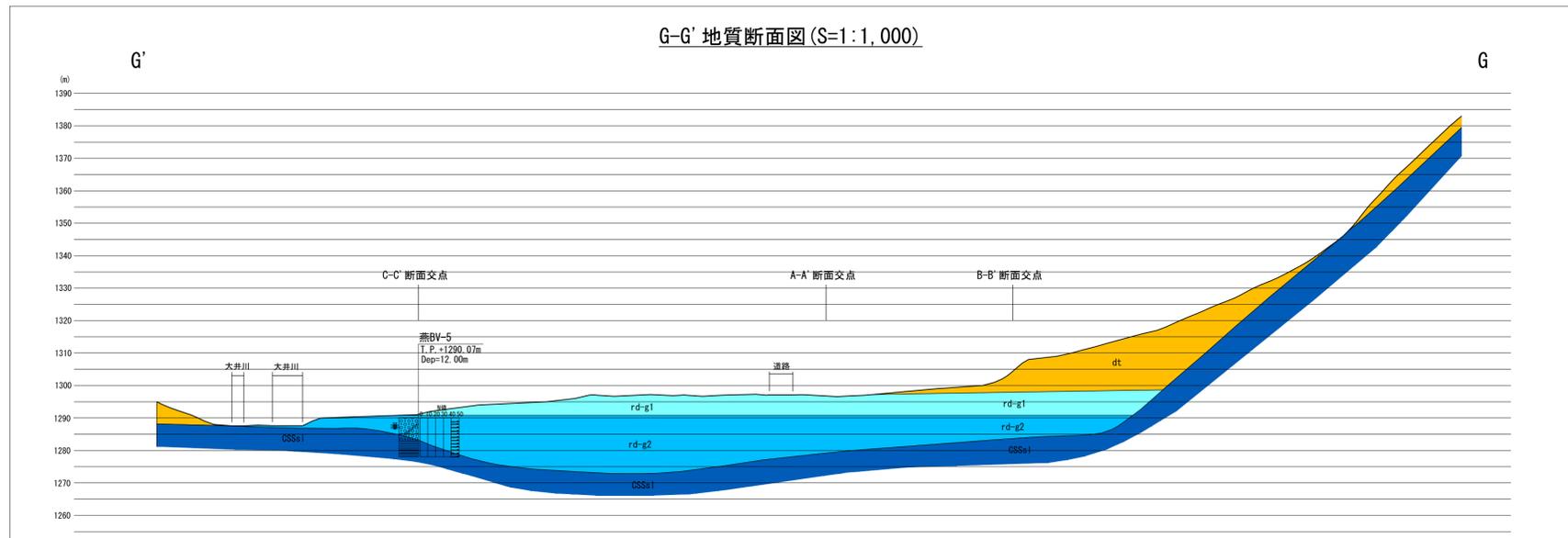
※土質試験結果：工学的分類、細粒分含有率、(試験深度)



地質構成表（ツバクロ地区）

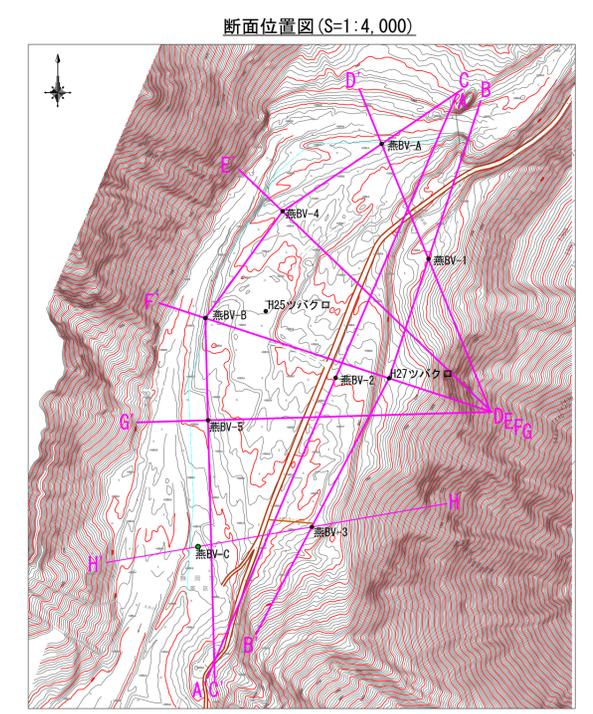
時代区分	地質名	細区分	記号	土質・岩相・N値
第四紀	完新世	盛土・埋土	bs	角礫主体の砂礫からなり、N値は概ね20以下の中位に密に締まった土層。
		崖錐・沖積堆積物	dt	玉石混じり砂礫からなり、N値は概ね30以下の緩い～中位に密に締まった土層。
	河床堆積物	(粘性土質砂礫層)	rd-gm	砂礫主体だが基質にシルトや粘土を多く混入し、N値10前後を示すやや緩い土層。
		(玉石砂礫層1)	rd-g1	玉石混じり砂礫からなり、N値は概ね30以下の中位に密に締まった土層。
		(玉石砂礫層2)	rd-g2	最大1mを超える玉石を多く混入する砂礫で、N値50以上の密～非常に密に締まった土層。
更新世	段丘堆積物	tr	標高1315m前後の斜面裾の平坦面を構成する可能性があるが、崖錐堆積物に一括した。	
古第三紀～中生代白亜紀	四万十層群 白根帯	粘板岩	CSSs1	粘板岩を主体として砂岩やチャートの薄層狭在。岩片は非常に硬質だが高角度の劈開に沿った亀裂が発達し、一部は開口性亀裂で細粒分を挟む。





地質構成表 (ツバクロ地区)

時代区分	地質名	細区分	記号	土質・岩相・N値
第四紀	完新世	盛土・埋土	bs	角礫主体の砂礫からなり、N値は概ね20以下の中位に密に締まった土層。
		崖錐・沖積錐堆積物	dt	玉石混じり砂礫からなり、N値10~30程度の緩い~中位に密に締まった土層。
	河床堆積物	(粘性土質礫層)	rd-gm	砂礫主体だが基質にシルトや粘土を多く混入し、N値10前後を示すやや緩い土層。
		(玉石砂礫層1)	rd-g1	玉石混じり砂礫からなり、N値は概ね30以下の中位に密に締まった土層。
		(玉石砂礫層2)	rd-g2	最大1mを超える玉石を多く混入する砂礫で、N値50以上の密~非常に密に締まった土層。
更新世	段丘堆積物	tr	標高1315m前後の斜面裾の平坦面を構成する可能性があるが、崖錐堆積物に一括した。	
古第三紀~中生代白亜紀	四万十層群白根帯	粘板岩	CSSs1	粘板岩を主体として砂岩やチャートの薄層狭在。岩片は非常に硬質だが高角度の劈開に沿った亀裂が発達し、一部は開口性亀裂で細粒分を挟む。



土質ボーリング柱状図（下BV-1）

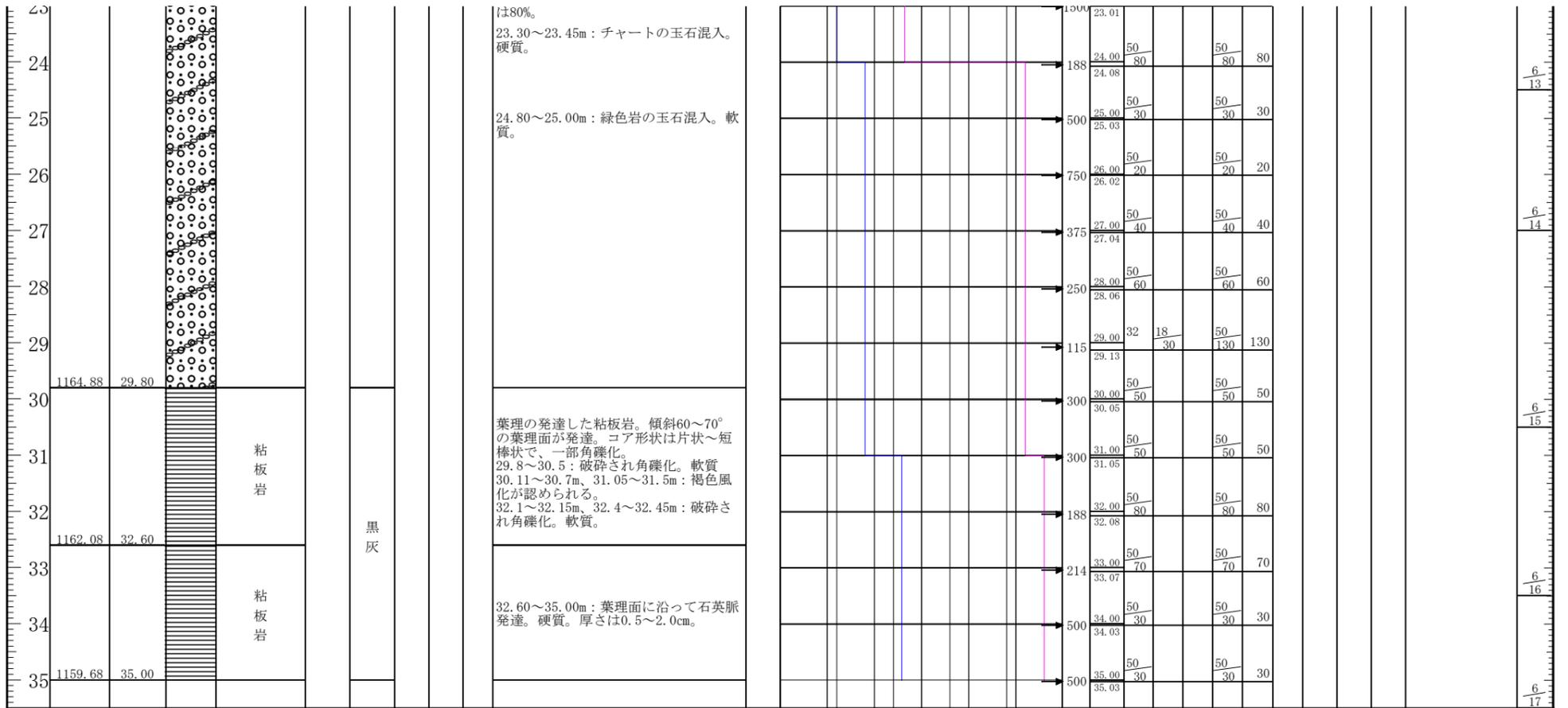
調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		下BV-1		調査位置		北緯	
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者		使用機種		エンジン		ポンプ	
孔口標高	T. P. 1194.68m	角	180° 上下 90°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	35.00m					試錐機	鉦研OP-1
						エンジン	ヤンマーNFAD13
						ポンプ	MS753

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	地 質 時 代 名	記 事	孔内水位 / 測定月	標準貫入試験						試料採取	室 内 試 験	削 孔 日	
												深 度 (m)	N 値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量				深 度 (m)
1										直径10cm以上の玉石を含む不均質な砂礫。玉石は直径10.0~20.00cmを1mに1~2個含有したのを主体とし、最大直径は35.0cmとなる。礫率は全体の30%。礫種は砂岩70%、粘板岩20%、緑色岩チャート10%。0.30~6.40m: 厚さ20cm前後の砂岩質の玉石が主体だが、砂礫は小さいものが多く、最大直径7cmとなる。4.45~4.55m、4.80~4.90m: 緑色岩の玉石が混入、硬質。	06/06 3.05	15	4	6	5	15	2.00	下BV-1-1	○	密度・含水・粒度	6/2
2											06/04 4.45	24	2	4	3	24	3.50			6/3	
3											06/06 4.80	35	3	6	5	35	6.00	下BV-1-2	○	密度・含水・粒度	6/4
4											06/09 7.65	79	4	8	7	190	7.50			6/6	
5											06/09 9.20 06/09 9.70	188	5	10	9	80				6/7	
6											06/14 10.50 06/14 10.70	33	6	12	11	330				6/8	
7											06/14 11.85	31	7	13	11	310				6/9	
8											06/16 18.70	35	8	14	13	350				6/10	
9											06/10 15.40	38	9	15	14	380				6/11	
10											06/14 19.00 06/14 19.20	115	10	17	17	130				6/12	
11											06/16 21.70	79	11	20	19	190				6/13	
12											06/14 23.00 06/14 23.20	42	12	21	21	420				6/14	
13											06/16 23.70	48	13	22	22	480				6/15	
14											06/16 24.70	55	14	23	23	550				6/16	
15											06/16 25.70	65	15	24	24	650				6/17	
16											06/16 26.70	60	16	25	25	600				6/18	
17											06/16 27.70	32	17	26	26	320				6/19	
18											06/16 28.70	48	18	27	27	480				6/20	
19											06/16 29.70	33	19	28	28	330				6/21	
20											06/16 30.70	83	20	29	29	830				6/22	
21											06/16 31.70	36	21	30	30	360				6/23	
22											06/16 32.70	188	22	31	31	1880				6/24	
23											06/16 33.70	107	23	32	32	1070				6/25	
24											06/16 34.70	150	24	33	33	1500				6/26	



土質ボーリング柱状図（下BV-2）

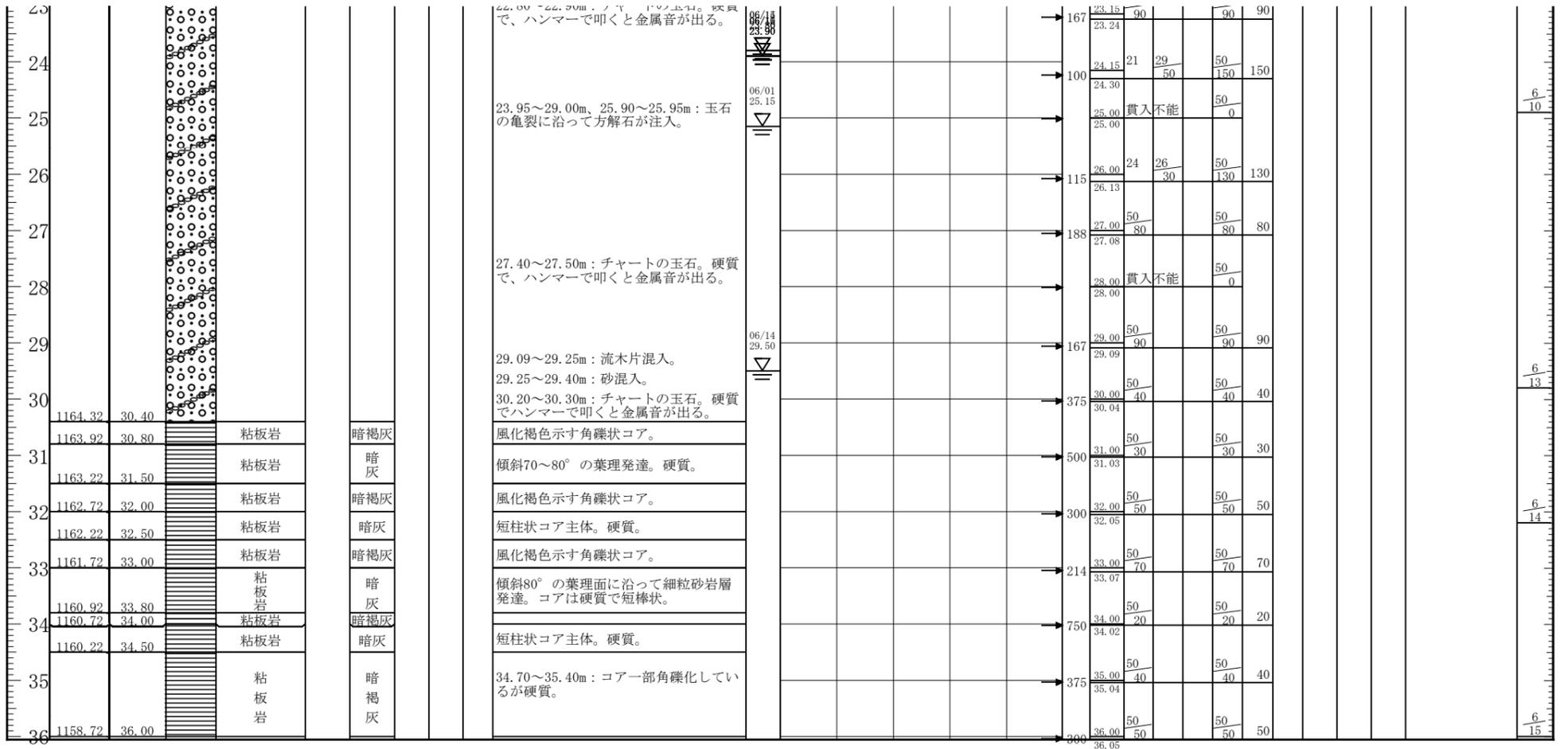
調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		下BV-2		調査位置		北緯	
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者		試錐機		エンジン		ポンプ	
孔口標高	T. P. 1194.72m	角 度	180° 上下 90° 0°	方位	北 0° 270° 西 東 90° 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	36.00m			使用機種	鉦研OP-1		
				エンジン	ヤンマーNFD12	ポンプ ヤンマーCP65	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日								
												深度-N値図								深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試料番号	採取方法
1										直径10cm以上の玉石を含む不均質な砂礫。玉石は直径8.0~30.0cmを1mに2~3個含有したのを主体とし、最大直径は40.5cmとなる。礫率は全体の40~50%。礫種は、砂岩60%、粘板岩30%、緑色岩、チャート10%。	06/03 2.60	N	深	100mm	打撃	50回	自沈	深	試料	採取							
2				玉石混じり砂礫		暗灰				砂礫は直径0.50~3.00cmの角礫が主体。直径1.0cm以下は亜角礫。礫率は全体の40%。礫種は粘板岩50%、砂岩40%、チャート10%。基質は細礫粗砂混じり砂質粘板岩。	06/04 4.00	2	1.15	1	2												
3											06/04 5.50	21	2.15	3	8	10	21								6/2		
4											06/04 7.00	35	3.15	8	12	15	35								6/3		
5											06/06 8.00	250	4.00	50	60	50	60										
6											06/06 9.50	75	5.00	貫入不能		50	0										
7											06/06 11.00	63	6.00	19	31	50	200										
8	1186.72	8.00									06/07 13.50	33	7.15	12	14	24	50	240								6/4	
9				砂礫		暗灰				8.00~10.00m間は玉石の少ない砂礫。礫率は70%前後。礫種は、砂岩60%、粘板岩30%、緑色岩、チャート10%。基質は細礫粗砂混じり砂質粘板岩。	06/07 14.50	43	8.15	11	12	10	33										
10	1184.72	10.00									06/08 16.00	31	9.15	15	14	14	43										
11											06/08 17.45	40	10.15	10	10	11	31										
12											06/09 18.90	42	11.15	13	13	14	40										
13											06/09 20.35	107	12.15	13	14	15	42										
14											06/09 21.80	94	13.15	25	25	50	140	140									
15										13.70~13.90m: 玉石、砂礫どちらも褐色風化が認められる。玉石は岩芯まで風化が認められる。	06/09 23.25	39	14.15	17	33	50	160	160									
16										15.55m: 厚さ1.0cmのチャート層が混入。	06/09 24.70	42	15.15	9	15	15	39										
17											06/09 26.15	39	16.15	11	14	17	42										
18											06/09 27.60	42	17.15	11	14	14	39										
19										19.90~20.00m: 砂岩質の玉石の岩芯に褐色風化が認められる。	06/09 29.05	39	18.15	14	15	14	43										
20											06/09 30.50	36	19.15	13	12	11	36										
21										20.43~29.80m: 玉石の直径は15.00~30.00cmで、最大40.0cm。礫種は砂岩80%、粘板岩、チャート20%。砂礫の直径は2.0~5.0cm。	06/09 31.95	54	20.15	13	17	20	50	280	280								
22											06/09 33.40	27	21.15	10	8	9	27										
23										22.80~22.90m: チャートの玉石。硬質で、ハンマーで叩くと金属音が出る。	06/09 34.85	88	22.15	19	31	50	170	170									
24											06/09 36.30	167	23.15	50	90	50	90	90									



土質ボーリング柱状図（下BV-3）

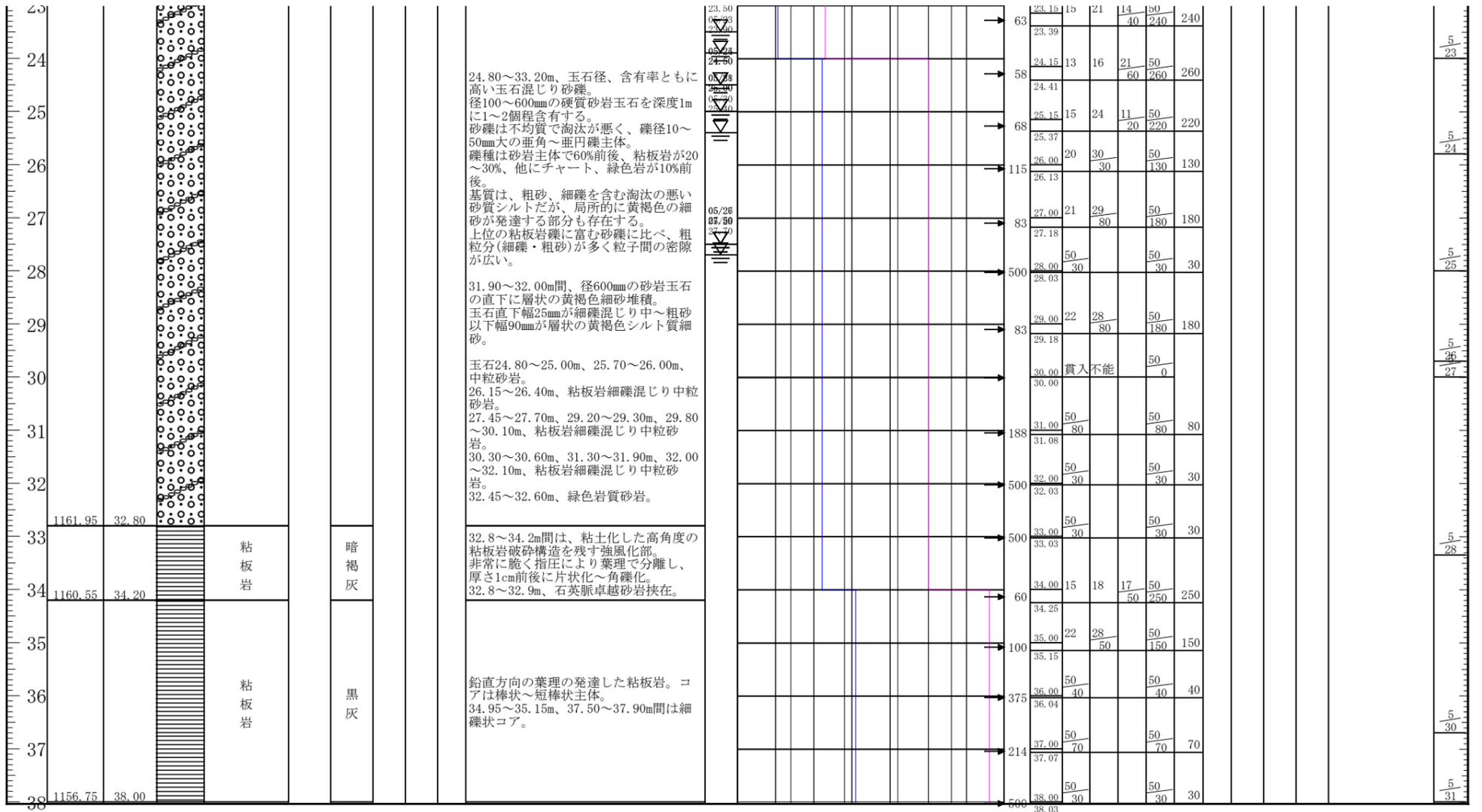
調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		下BV-3		調査位置				北緯													
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡 工事事務所				調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日		東経											
調査業者名				主任技師				現代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者									
孔口標高		T. P. 1194.75m		角		180° 上下 90°		方位		北 0° 270°西 90°東 180°南		地盤勾配		水平0° 鉛直 90°		使用機種		試錐機		鉦研OP-1	
総削孔長		38.00m		度		0°		位置				エンジン		ヤンマーNFD12		ポンプ		ヤンマーCP65			

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	標準貫入試験						試料採取	室 内 試 験	削 孔 日											
											深度 (m)	N 値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量				深 度 (m)	試 料 番 号	採 取 方 法								
	1194.35	0.40	砂礫	砂礫	暗黄褐					径0.5~30mmの亜円~亜角礫を含む不均質な砂礫。基質は砂質シルト。0.35m付近に靴底ゴム混入。	0	10	20	30	40	50	0	100	200	300	0	100	200	300						
1			砂礫	砂礫	暗黄褐					不規則に玉石が混入する玉石混じり砂礫。0.40~24.80m間は玉石径、含有率ともに低く、24.80~33.20m間は玉石径、含有率とともに高い。33.20~34.25m間は、強風化した粘板岩塊のみで構成される。砂礫は、径10~50mmの砂岩、粘板岩、亜円~亜角礫主体で、基質は淘汰の悪い砂質シルトで、一部黄褐色、砂に富む部分も存在する。	05/16 1.50	1.15	2	4	3	9	300													
2			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/17 2.56	2.15	1	2	2	5	300													
3			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/18 3.25	3.15	2	4	5	11	300													
4			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/18 5.50	4.15	2	2	6	10	300													
5			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/18 5.50	5.15	4	11	13	28	300													
6			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/19 7.60	6.15	8	9	11	28	300													
7			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/19 7.60	6.45																		
8			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/19 9.90	7.15	4	10	10	24	300													
9			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/19 9.90	8.15	12	12	10	34	300													
10			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/20 16.50	9.00	50	40	50	40	40													
11			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	10.15	5	7	13	25	300													
12			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	10.45																		
13			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	11.15	11	14	12	37	300													
14			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	12.15	7	43	50	170	170													
15			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	12.32																		
16			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	13.15	15	14	15	44	300													
17			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	13.45																		
18			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	14.15	12	11	11	34	300													
19			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	14.45																		
20			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	15.15	12	13	14	39	300													
21			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	15.45																		
22			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	16.15	11	12	13	36	300													
23			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	16.45																		
24			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	17.15	18	23	9	50	220	220												
25			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	17.37																		
26			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	18.15	13	15	14	42	300													
27			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	18.45																		
28			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	19.15	14	17	17	48	300													
29			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	19.45																		
30			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	20.15	11	10	13	34	300													
31			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	20.45																		
32			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	21.15	12	13	11	36	300													
33			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	22.15	15	15	20	50	300	300												
34			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	22.45																		
35			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	23.15	15	21	14	50	240	240												
36			砂礫	砂礫	暗黄褐						05/21 14.05	23.39																		



土質ボーリング柱状図（下BV-4）

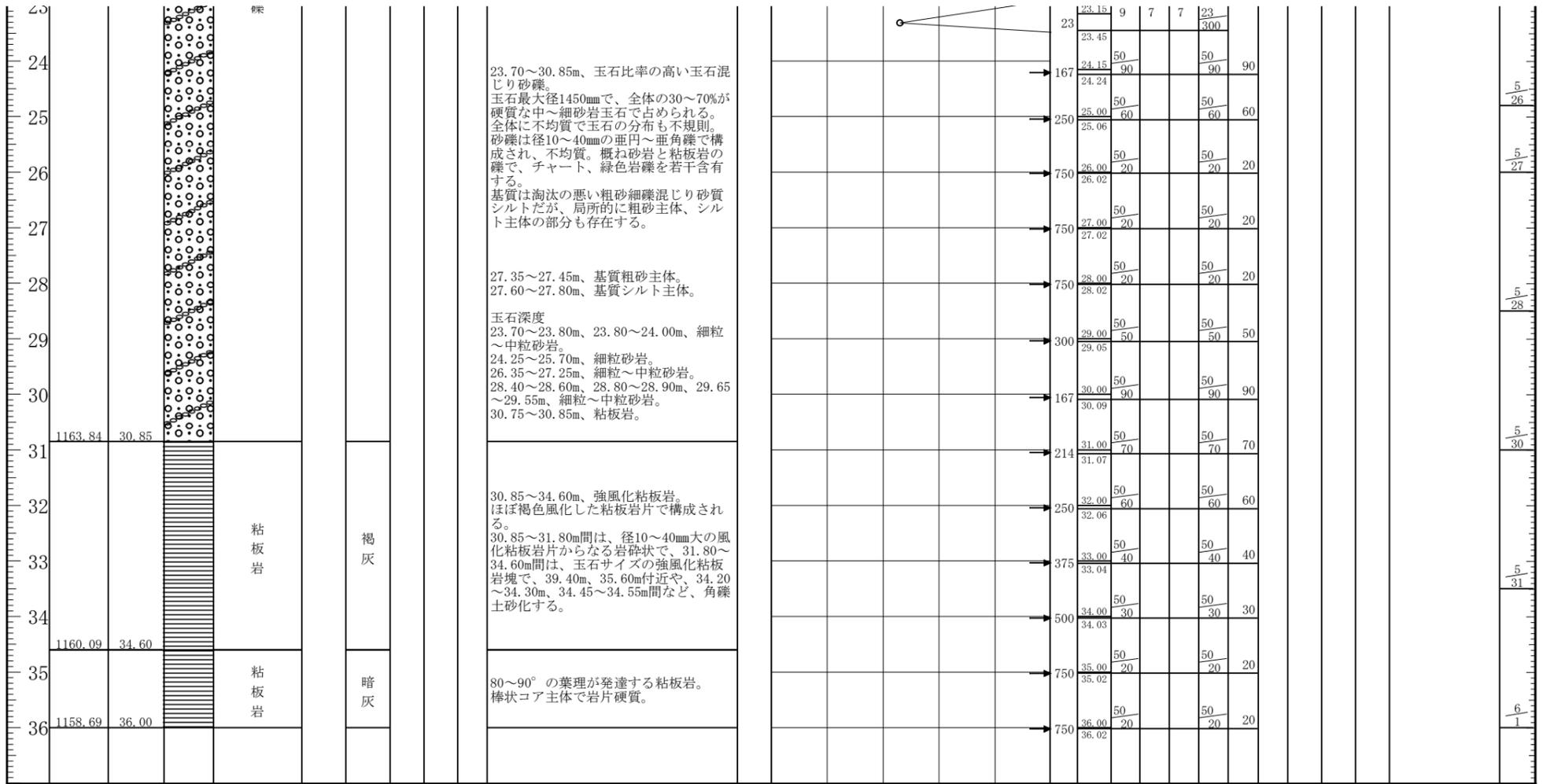
調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		下BV-4		調査位置		北緯	
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡 工事事務所		調査期間		東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者		試錐機		エンジン		ポンプ	
孔口標高	T. P. 1194.69m	角	180° 上下 90°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	36.00m			使用機種		鉦研OP-1	
				エンジン		ヤンマーNFD13	
				ポンプ		CP-50	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	試験番号	採取方法	室内位置試験	削孔月日													
												N 値	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量																		
1			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色				径100~900mmの玉石を不規則に混入する不均質な砂礫。岩種は概ね硬質な細~中粒砂岩だが、一部粘板岩。砂礫は不均質で、全体に礫率が高く、45~60%程度。礫径10~30mm主体で、粘板岩の角~亜角礫45~60%、硬質な細粒砂岩かっく礫30~40%、他チャート緑色岩片が10%内外となる。基質は、不均質な粗砂、細礫混じり砂質シルトで、一部褐色。	05/16 0.60		10	1.15	4	3	3	10	150					5/16										
2		1.45													7	2.15	5	4							1	10	5/17							
3		2.60													15	3.15	2	5							8	15	5/18							
4		3.45													31	4.15	7	8							16	31	5/19							
5		4.45													39	5.15	18	12							9	39	5/20							
6		5.45													100	6.15	24	26							50	150	5/21							
7	1183.69	11.00									砂礫		砂礫		暗灰			玉石径5cm以下で砂礫主体。礫種は粘板岩角礫。礫分70%。基質は暗褐色の粗砂細礫混じり砂質シルト。							05/23 11.75	25	7.15	8	8	9	25	5/24		
8		7.45																										44	8.15	14	12	18	44	5/25
9		8.45																										37	9.15	11	13	13	37	5/26
10		9.45													31	10.15	11	12							8	31	5/27							
11		10.45													29	11.15	10	9							10	29	5/28							
12		11.45				37	12.15	10	12	15	37	5/29																						
13	1181.69	13.00	玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色			16.05~19.40m、礫径やや大きく、砂岩比率高い玉石混じり砂礫。礫径10~40mmの硬質中~粗砂岩角礫主体。礫率50%前後、粘板岩礫は径10mm以下の細礫のみ。基質は黄褐色砂質シルト。	05/23 12.65	24	13.15	10	8	6	24	5/30																	
14		13.45											79	14.15	21	29	90	190	5/31															
15		14.34											60	15.15	11	24	15	50	6/01															
16		15.30											250	16.00	50	60	50	60	6/02															
17		16.06											45	17.15	15	13	17	45	6/03															
18		17.45				40	18.15	14	11	15	40	6/04																						
19		18.30				39	19.15	15	13	11	39	6/05																						
20		19.45				54	20.15	16	18	16	50	6/06																						
21		20.43				27	21.15	9	7	11	27	6/07																						
22		21.30				94	22.15	19	31	60	50	6/08																						
23		22.31				23	23.15	9	7	7	23	6/09																						
24		23.45				50	24.15	9	7	7	50	6/10																						



ボーリング柱状図 (H25藤島)

調査名 静岡県内地質調査ほか(ボーリング調査)

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	H25藤島			調査位置	静岡市葵区内			北緯	35° 23' 52.7"		
発注機関				調査期間	平成 25年 11月 5日 ~ 25年 11月 14日			東経	138° 12' 29.54"		
調査業者名				主任技師				現場代理人			
孔口標高	1046.5m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	D0-D		
総掘進長	23.00m	度	0°	向				エンジン	ヤンマー製 NFD90	ポンプ	BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R Q D [%]	岩級区分	孔内水位 / 測定月日	（ルジオン標準貫入）試験		原位置試験 ()	室内試験 ()	掘進状況																		
																	N 値	試験結果			掘進	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)											
1				埋土・玉石混じり砂	暗灰						φ60~70mmの角礫主体。礫は砂岩主体。緑色岩も混入。							1.15	1.15																				
2	1044.50	2.00		埋土・細砂	暗灰						均質な細粒砂。粗粒分含まず。							1.45	1.45																				
3				埋土・シルト	暗灰						均質なシルト。砂分、礫分含まず。GL.-7m付近は粘土質。							3.15	3.15																				
4	1042.50	4.00		埋土・シルト	暗灰						均質なシルト。砂分、礫分含まず。GL.-7m付近は粘土質。							3.45	3.45																				
5				埋土・シルト	暗灰						均質なシルト。砂分、礫分含まず。GL.-7m付近は粘土質。							4.15	4.15																				
6				埋土・シルト	暗灰						均質なシルト。砂分、礫分含まず。GL.-7m付近は粘土質。							4.45	4.45																				
7				埋土・シルト	暗灰						均質なシルト。砂分、礫分含まず。GL.-7m付近は粘土質。							4.15	4.15																				
8	1038.70	7.80		埋土・玉石混じり砂礫	暗灰						φ40~110mmの角礫主体。礫は砂岩主体。緑色岩も混入。							5.15	5.15																				
9				埋土・玉石混じり砂礫	暗灰						φ40~110mmの角礫主体。礫は砂岩主体。緑色岩も混入。							5.45	5.45																				
10				埋土・玉石混じり砂礫	暗灰						φ40~110mmの角礫主体。礫は砂岩主体。緑色岩も混入。							6.15	6.15																				
11				埋土・玉石混じり砂礫	暗灰						φ40~110mmの角礫主体。礫は砂岩主体。緑色岩も混入。							6.47	6.47																				
12				埋土・玉石混じり砂礫	暗灰						φ40~110mmの角礫主体。礫は砂岩主体。緑色岩も混入。							7.15	7.15																				
13	1033.50	13.00		埋土・砂礫	黒灰						φ40~50mmの角礫主体。最大径はφ90mm。礫は全て粘板岩。							7.49	7.49																				
14				埋土・砂礫	黒灰						φ40~50mmの角礫主体。最大径はφ90mm。礫は全て粘板岩。							8.15	8.15																				
15				埋土・砂礫	黒灰						φ40~50mmの角礫主体。最大径はφ90mm。礫は全て粘板岩。							8.45	8.45																				
16				埋土・砂礫	黒灰						φ40~50mmの角礫主体。最大径はφ90mm。礫は全て粘板岩。							9.15	9.15																				
17				埋土・砂礫	黒灰						φ40~50mmの角礫主体。最大径はφ90mm。礫は全て粘板岩。							9.45	9.45																				
18	1028.50	18.00		玉石混じり砂礫	暗灰						(河床堆積物) φ50~180mmの亜円礫主体。礫は砂岩主体。玄武岩、ひん岩、粘板岩も混入。基質							10.15	10.15																				
19				玉石混じり砂礫	暗灰						(河床堆積物) φ50~180mmの亜円礫主体。礫は砂岩主体。玄武岩、ひん岩、粘板岩も混入。基質							11.15	11.15																				
20				玉石混じり砂礫	暗灰						(河床堆積物) φ50~180mmの亜円礫主体。礫は砂岩主体。玄武岩、ひん岩、粘板岩も混入。基質							11.45	11.45																				
21				玉石混じり砂礫	暗灰						(河床堆積物) φ50~180mmの亜円礫主体。礫は砂岩主体。玄武岩、ひん岩、粘板岩も混入。基質							12.00	12.00																				
22				玉石混じり砂礫	暗灰						(河床堆積物) φ50~180mmの亜円礫主体。礫は砂岩主体。玄武岩、ひん岩、粘板岩も混入。基質							12.02	12.02																				
23	1023.50	23.00		玉石混じり砂礫	暗灰						(河床堆積物) φ50~180mmの亜円礫主体。礫は砂岩主体。玄武岩、ひん岩、粘板岩も混入。基質							13.15	13.15																				

ボーリング柱状図 (藤 B V - 1)

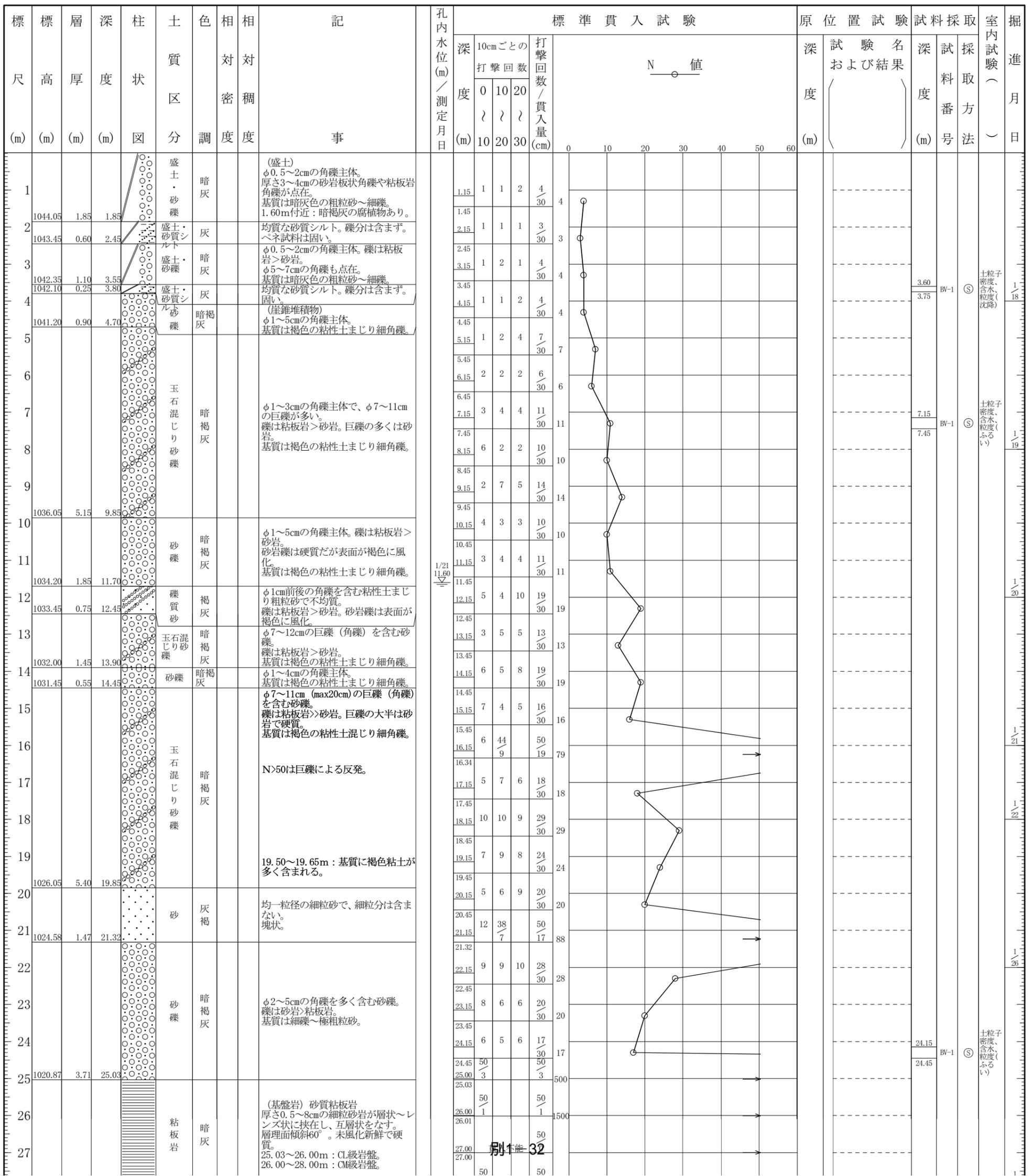
調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	藤 B V - 1		調査位置	静岡市葵区田代藤島			北緯	35° 23' 52.7"					
発注機関				調査期間	令和3年1月15日 ~ 3年1月27日		東経	138° 12' 27.4"					
調査業者名				主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者						
孔口標高	1045.90m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種	D0-D	ハンマー落下用具	半自動落下	
総掘進長	28.00m	度		向					エンジン	NFD-10	ポンプ	MS154-A	



ボーリング柱状図 (藤 B V - 2)

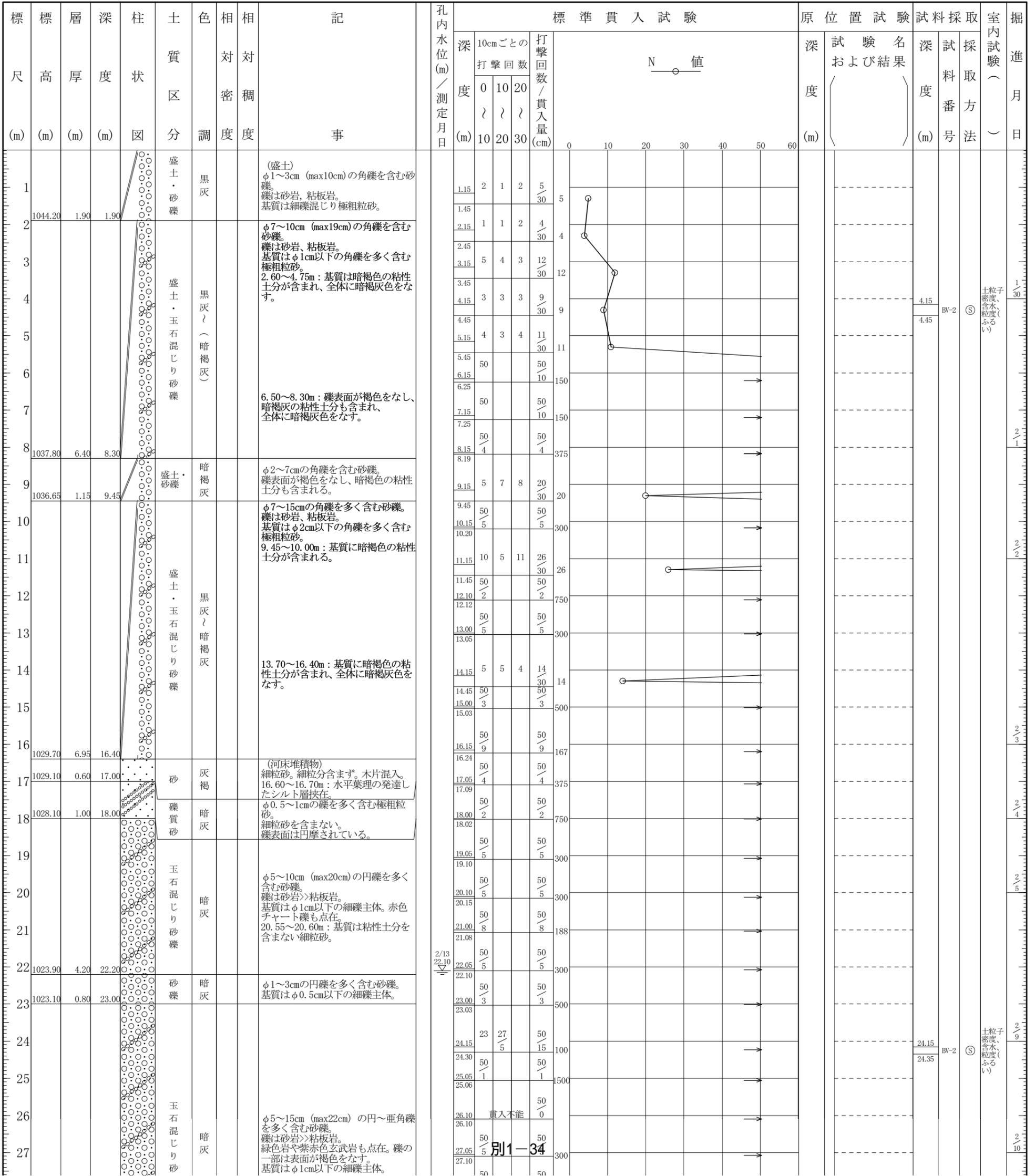
調査名

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	藤 B V - 2	調査位置	静岡市葵区田代藤島			北緯	35° 23' 51.0"
発注機関		調査期間	令和 3年 1月 30日 ~ 3年 2月 13日			東経	138° 12' 27.8"
調査業者名		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	1046.1m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°
総掘進長	39.80m	使用機種	試錐機		D0-D	ハンマー落下用具	半自動落下
		エンジン			NFD-10	ポンプ	MS154-A



別1-34

27				じり砂礫	暗灰	礫は砂岩、粘板岩。緑色岩や紫赤色玄武岩も点在。礫の一部は表面が褐色をなす。基質はφ1cm以下の細礫主体。	27.05 27.10	50 5	50 5	300										2 10
28							28.05 28.08	50 3	50 3	500										
29							29.05 29.08	50 3	50 3	500										
30	1015.60	7.50	30.50				30.00 30.00		50 0											2 11
31				砂礫	暗褐灰（暗灰褐）	φ5cm以下の亜円礫を含む砂礫。礫は砂岩、粘板岩。緑色岩も点在。基質は1cm以下の細礫主体。灰褐色の粘性土分をわずかに含む。	31.00 31.07	50 7	50 7	214										
32							32.00 32.03	50 3	50 3	500										
33	1012.30	3.30	33.80			33.10~33.80m：礫間を黄褐色の粘土（流入粘土）が充填し、全体に暗灰褐色をなす。	33.10 33.13	50 3	50 3	500										
34				玉石混じり砂礫	暗灰褐	φ7~10cm (max14cm) の亜円~亜角礫を多く含む砂礫。礫は砂岩>>粘板岩。基質は0.5~1cmの細礫からなり、砂分は含まない。礫間を黄褐色の粘土が充填。流入粘土と思われる。	34.00 34.03	50 3	50 3	500										
35	1010.55	1.75	35.55				35.00 35.04	50 4	50 4	375										
36	1009.70	0.85	36.40	砂	暗灰	粗粒砂。所々厚さ1cm以下の細粒砂~極細粒砂（褐色）が水平に分布し、層状構造が認められる。	36.05 36.09	50 4	50 4	375										
37				砂礫	暗褐灰	φ1~4cm (max7cm) の亜角礫主体の砂礫。礫は砂岩>>粘板岩。基質はφ1cm以下の細礫からなり、一部黄褐色の粘性土分を含む。	37.00 37.01	50 1	50 1	1500										
38	1007.80	1.90	38.30				38.05 38.10	50 5	50 5	300										
39	1006.30	1.50	39.80	玉石混じり砂礫	暗褐灰	φ7~10cm (max13cm) の円礫を多く含む砂礫。礫は砂岩、粘板岩。基質はφ1cm以下の細礫を多く含む粗~中粒砂で灰褐色を示す。38.30~38.50m：木片混入。炭化せず、生木状。	39.05 39.08	50 3	50 3	500										
40																				

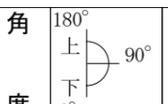
ボーリング柱状図 (藤 B V - 3)

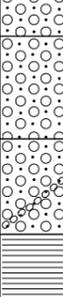
調査名

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	藤 B V - 3		調査位置	静岡県葵区田代藤島			北緯	35° 23' 54.5"		
発注機関				調査期間	令和 3年 2月 18日 ~ 3年 2月 25日		東経	138° 12' 29.8"		
調査業者名				主任技師			現場代理人			
							コア鑑定者			
孔口標高	1046.5m	角			地盤勾配			使用機種	D0-D	
総掘進長	21.00m	度			試錐機			ハンマー落下用具		半自動落下
				エンジン	NFD-10		ポンプ	MS154-A		

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験	掘進												
										深度 (m)	10cmごとの打撃回数 (0, 10, 20)	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深度 (m)					試験名	採取方法	採取番号									
1046.05	0.45	0.45	0.45		盛土・砂礫	暗灰			(盛土) 0.00~0.20mは褐色の礫混じり細砂。	1.15	1	1	1	3	30															
1045.50	0.55	1.00	1.00		盛土・砂	灰			極細粒砂。礫含まず。	1.45																				
					盛土・シルト	灰			固結したシルト。塊状で、上位の砂層から漸移。3m付近より下位はφ0.5mm程度の角礫が混入。	4.15	1	2	1	4	30															
					盛土・シルト	灰			5.25~5.40m : φ10cmの角礫を含む砂礫が挟在。 5.40~5.75m : 塊状のシルトだが上位より軟質。	5.15	50			50	10															
1040.75	4.75	5.75	5.75		盛土・玉石混じり砂礫	黒灰 (暗褐色)			φ7~10cm (max15cm) の角礫を多く含む砂礫。礫は粘板岩>砂岩。基質はφ1cm以下の細角礫主体。細粒分はほとんど含まない。8.35~10.00m : 基質に灰褐色の砂~粘性土分が多く含まれる。	6.15	2	48	5	50	15															
					砂礫	暗褐色			(河床堆積物) φ2~5cmの円~亜円礫を多く含む砂礫。基質は細礫混じりの粗粒砂。	7.15	3	3	5	11	30															
					玉石混じり砂礫	暗褐色			φ6~10cm (max30cm) の円~亜円礫を含む砂礫。礫は砂岩。基質はφ1cm以下の細礫混じり粗粒砂。	7.45	50			50	5															
1036.50	4.25	10.00	10.00		砂礫	暗褐色			φ3~7cmの亜円~亜角礫を多く含む砂礫。礫は砂岩>>粘板岩。基質は灰褐色の砂質細礫。基底に厚さ5cmの灰褐色極細粒砂が分布。	8.15	50	5		50	5															
					砂礫	暗褐色			(屋簷堆積物) φ2~5cm (max15cm) の角礫を含む砂礫。礫は砂岩>粘板岩。基質は細礫混じりのシルト質中粒砂で灰褐色をなす。	8.20																				
1035.50	1.00	11.00	11.00		砂礫	暗褐色			φ2~5cm (max15cm) の角礫を含む砂礫。礫は砂岩>粘板岩。基質は細礫混じりのシルト質中粒砂で灰褐色をなす。	9.15	3	3	4	10	30															
1034.10	1.40	12.40	12.40		玉石混じり砂礫	暗褐色			φ7~10cmの粘板岩角礫を含む砂礫。砂岩礫は点在。基底部 (17.25~17.40m) は基質が赤褐色に変色。	9.45																				
1031.80	2.30	14.70	14.70		砂礫	暗褐色			(基盤岩) 砂質葉理の発達した砂質粘板岩。葉理面傾斜は60~70°で上方細粒化の傾向を示す。17.50~19.90m : 割れ目沿いが褐色に風化しておりCL級岩盤相当。19.90~21.00m : 割れ目沿いの一部が褐色に風化する短棒状コアで、CM級岩盤相当。	10.10																				
1030.35	1.45	16.15	16.15		砂礫	暗褐色				15.15	50	7		50	7															
					玉石混じり砂礫	暗褐色				15.22																				
1029.00	1.35	17.50	17.50		砂礫	暗褐色				16.15																				
					砂礫	暗褐色				16.15																				
					砂礫	暗褐色				17.15	50	5		50	5															
					砂礫	暗褐色				17.20	50	5		50	5															
					粘板岩	暗褐色 (暗褐色)				18.00	1			1																
					粘板岩	暗褐色 (暗褐色)				18.01																				
					粘板岩	暗褐色 (暗褐色)				19.00																				
					粘板岩	暗褐色 (暗褐色)				19.00																				
					粘板岩	暗褐色 (暗褐色)				20.00																				
					粘板岩	暗褐色 (暗褐色)				20.00																				
					粘板岩	暗褐色 (暗褐色)				21.00																				
					粘板岩	暗褐色 (暗褐色)				21.00																				

ボーリング柱状図 (藤B V - 4)

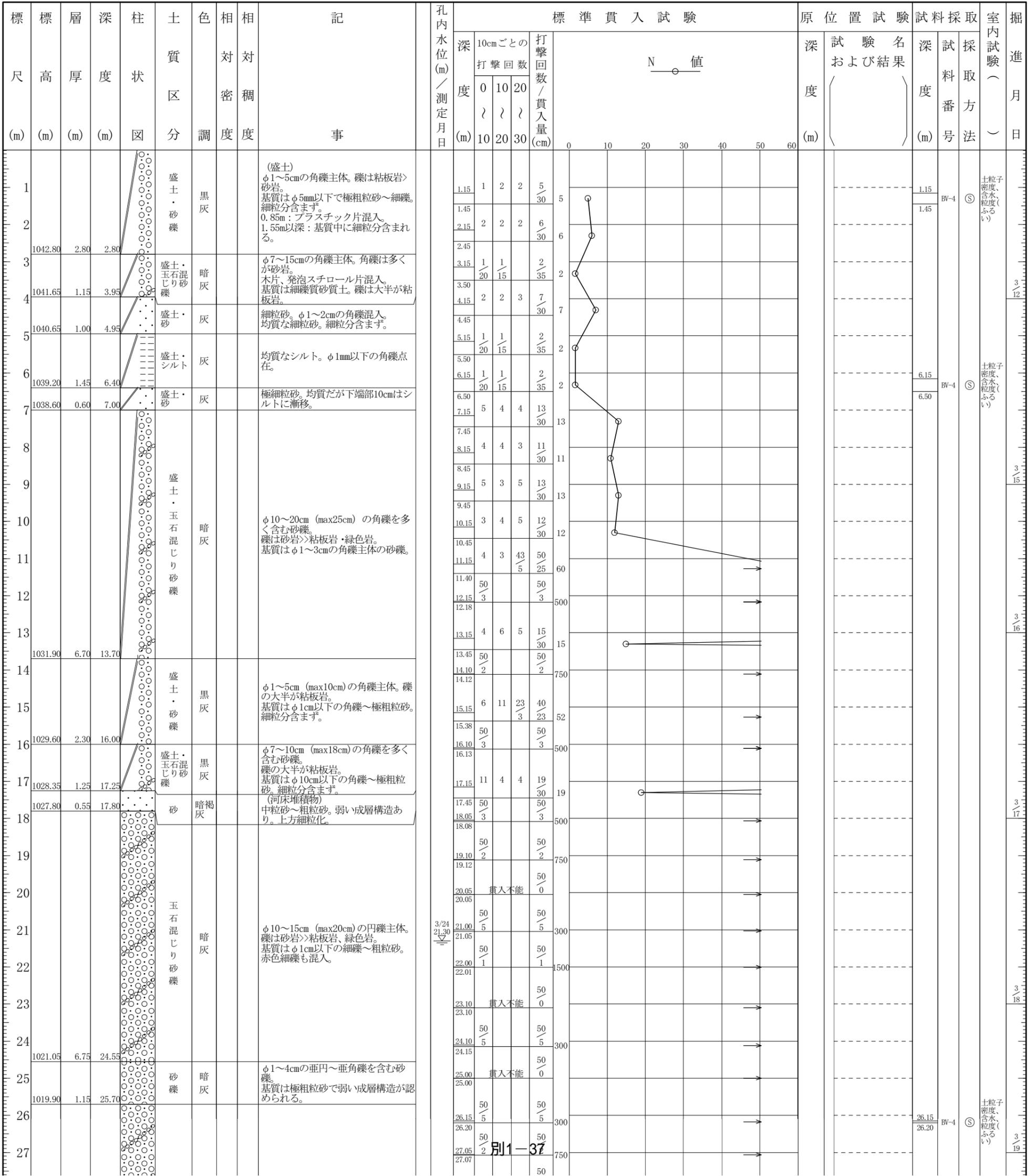
調査名

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	藤B V - 4		調査位置	静岡県葵区田代藤島			北緯	35° 23' 52.0"			
発注機関				調査期間	令和 3年 3月 12日 ~ 3年 3月 24日			東経	138° 12' 29.1"		
調査業者名				主任技師				現場代理人	コア鑑定者		
ボーリング責任者				試験機	D0-D			ハンマー落下用具	半自動落下		
孔口標高	1045.6m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	エンジン	NFD-10		
総掘進長	46.00m	度		向				ポンプ	MS154-A		



ボーリング柱状図 (藤 B V - 6)

調査名

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	藤 B V - 6	調査位置	静岡県葵区田代藤島			北緯	35° 23' 56.1"
発注機関		調査期間	令和 3年 4月 1日 ~ 3年 4月 4日			東経	138° 12' 31.7"
調査業者名		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	1044.0m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°
総掘進長	25.00m	使用機種	試錐機	D0-D		ハンマー落下用具	半自動落下
		エンジン	NFD-10		ポンプ	MS154-A	

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験 (掘進月日)			
									深	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深	試験名および結果				深	試料採取番号	採取方法
1043.10	0.90	0.90		盛土・砂礫	黒灰			(盛土) φ1~3cm (max6cm)の角礫主体。礫は粘板岩=砂岩。基質は極粗粒砂~細礫で細粒分は含まない。	1.15	3	1	3	7/30	7			土粒子密度、含水、粒度(ふるい)		
1040.75	2.35	3.25		盛土・玉石混じり砂礫	黒灰			φ3~10cm (max12cm)の角礫主体。礫は粘板岩=砂岩で巨礫の大半が砂岩。基質は極粗粒砂~細礫で細粒分は含まない。	1.45	2	2	1	5/30	5					
1040.30	0.45	3.70		盛土・粘土	暗灰			シルト質粘土。塊状で成層構造は認められない。	2.15	4	1/20	5/30	5				土粒子密度、含水、粒度(沈降)		
1038.30	2.00	5.70		盛土・玉石混じり砂礫	黒灰			φ5~10cm (max15cm)の角礫主体。礫は粘板岩。砂岩は含まない。基質は2~5cmの粘板岩細角礫からなる。砂分、細粒分は含まない。	3.15	6	4	3	13/30	13					
1037.55	0.75	6.45		表土・礫混じり粘性土	暗褐			(表土) φ0.5~2cmの角礫を含む粘性土。基底部は円礫を含む。5.90~6.00m: 黄褐色をなす。	3.45	50		50	50	15					
1037.05	0.50	6.95		砂礫	暗灰			(河床堆積物) φ1~3cmの円礫~亜円礫からなる砂礫。	4.15	3		3	500						
1036.10	0.95	7.90		玉石混じり砂礫	暗褐灰			φ5~10cmの円礫主体。礫は粘板岩>砂岩>チャート。基質は黄褐色の細礫混じり中粒砂。	4.45	11	8	15	34/30	34			土粒子密度、含水、粒度(ふるい)		
1034.90	1.20	9.10		玉石混じり砂礫	暗灰			φ5~8cmの円礫主体。礫は粘板岩>砂岩。基質は灰色の極粗粒砂~細礫。	5.15	8		8	50	50					
1032.70	2.20	11.30		砂礫	暗灰			φ1~5cm (max8cm)の円礫~亜角礫主体。礫は粘板岩>砂岩>チャート。基質は暗灰色の極粗粒砂~細礫。礫の一部とその周囲が褐色に変色。	5.45	6	7	7	20/30	20					
1030.80	1.90	13.20		粘板岩	黒灰(褐灰)			(基盤岩) 砂質粘板岩で砂質葉理が発達。層理面傾斜75°。開口割れ目が多く、砂~細礫が充填。開口幅2~5mm。割れ目周辺は褐色に風化。CL級岩盤相当。	6.15	50		50	500						
1019.00	11.80	25.00		粘板岩	黒灰			砂質粘板岩で砂質葉理(一部レンズ状)が発達。13.20~15.90m: 割れ目の一部は砂分が充填し、褐色に変色。CM級岩盤相当。13.50m: 層理面傾斜40°。15.90~17.70m: 割れ目の多くは層理面に平行で新鮮。層理面に斜交する割れ目の一部が褐色に変色。CM級岩盤相当。16.90m: 層理面傾斜55°。17.70~19.50m: 新鮮堅硬な棒状コア。CH級岩盤相当。19.50~20.00m: 層理面に平行な割れ目が10cm間隔で発達。一部割れ目表面が褐色に変色。CH級岩盤相当。19.70m: 層理面傾斜60°。20.00m: 新鮮堅硬な棒状コア。CH級岩盤相当。22.10m: 層理面55°。24.00~24.20m: 厚さ1~2cmの細粒砂岩層が集中し互層状をなす。岩石中には石英の細脈が網目状に発達。層理面傾斜30°。24.20~25.00m: 砂質葉理が傾斜50~90°で変化。乱堆積構造をなす。	7.15	貫入不能		50	0						

ボーリング柱状図 (H25中ノ宿2)

調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	H25中ノ宿2		調査位置	静岡市葵区内			北緯	35° 22' 55.82"			
発注機関				調査期間	平成 25年 11月 16日 ~ 25年 11月 22日			東経	138° 12' 26.89"		
調査業者名				主任技師				現場代理人			
孔口標高	1006.2m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	D0-D		
総掘進長	7.00m	度	0°	向				エンジン	ヤンマー製 NFD90	ポンプ	BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 最大コア長 R Q D [%]	岩級	孔内水位 (m) / 測定月日	(ルジオン標準貫入)試験		原位置試験 ()	室内試験 ()	掘進状況					
															(P~QN値~深度) 図	N 値			掘進月日	掘進速度 (cm/時)	コア径 (mm) / 孔壁保護	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)
1	1005.20	1.00		埋土砂礫	暗灰						φ50mm以下の角礫主体。礫は砂岩、粘板岩。				1.15	(21,10,19)	1.15							
2															1.45		含水、粒度							
3				玉石混じり砂礫	暗灰						(河床堆積物) φ5~200mmの亜角~亜円礫主体。最大礫はφ300mm。礫は砂岩主体。緑色岩、粘板岩、赤色チャートも混入。処々厚さ5~10cmの粗粒砂~細粒砂挟在。				3.00	(50)		11/18						
4															4.15	(50,9)	含水、粒度							
5															5.00	(50,5)								
6															6.00	(50,8)								
7	999.20	7.00													7.00	(50,3)		11/19						

土質ボーリング柱状図（中BV-1）

調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	中BV-1	調査位置				北緯	
発注機関	東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡 工事事務所				調査期間	2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日	
調査業者名					現代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	T. P. 1018.05m	角		方位	地盤勾配	使用機種	試験機
総削孔長	53.00m	度					水平0°
鉦研OP-1 ヤンマーNFD12 OS-40							

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取	室 内 試 験	削 孔 日							
												深 度 (m)	N 値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量				深 度 (m)	試料番号	採取方法	試験			
1										径10~30cm、最大40cmの玉石を含有する淘汰悪く不均質な砂礫。細粒砂岩、粘板岩からなる玉石を深度1~3mに1~3個程度含有する。砂礫は、粘板岩、砂岩の角礫を主体とし、不均質だが礫率高く45~60%ほど。礫径は淘汰悪いが、径1~4cm主体。基質は不均質な砂質シルトで、局所的に中~細粒砂や細円礫が発達する。	06/27 06/23 06/24 06/25 06/26 06/27 06/28 06/29 06/30 07/01 07/02 07/03 07/04 07/05 07/06 07/07 07/08 07/09 07/10 07/11 07/12 07/13 07/14 07/15 07/16 07/17 07/18 07/19 07/20 07/21 07/22 07/23 07/24 07/25 07/26 07/27 07/28 07/29 07/30 07/31 08/01 08/02 08/03 08/04 08/05 08/06 08/07 08/08 08/09 08/10 08/11 08/12 08/13 08/14 08/15 08/16 08/17 08/18 08/19 08/20 08/21 08/22 08/23 08/24 08/25 08/26 08/27 08/28 08/29 08/30 08/31 09/01 09/02 09/03 09/04 09/05 09/06 09/07 09/08 09/09 09/10 09/11 09/12 09/13 09/14 09/15 09/16 09/17 09/18 09/19 09/20 09/21 09/22 09/23 09/24 09/25 09/26 09/27 09/28 09/29 09/30 10/01 10/02 10/03 10/04 10/05 10/06 10/07 10/08 10/09 10/10 10/11 10/12 10/13 10/14 10/15 10/16 10/17 10/18 10/19 10/20 10/21 10/22 10/23 10/24 10/25 10/26 10/27 10/28 10/29 10/30 10/31 11/01 11/02 11/03 11/04 11/05 11/06 11/07 11/08 11/09 11/10 11/11 11/12 11/13 11/14 11/15 11/16 11/17 11/18 11/19 11/20 11/21 11/22 11/23 11/24 11/25 11/26 11/27 11/28 11/29 11/30 12/01 12/02 12/03 12/04 12/05 12/06 12/07 12/08 12/09 12/10 12/11 12/12 12/13 12/14 12/15 12/16 12/17 12/18 12/19 12/20 12/21 12/22 12/23 12/24 12/25 12/26 12/27 12/28 12/29 12/30 12/31	0	10	20	30	40	50	1.15	1	1	2	4	1.00	中 BV-1 -1	○	密度・含水・粒度	6/20
2				2.15	2	1	2	5	2.50											6/21							
3				3.15	4	3	3	10													6/22						
4				4.00	22	28	50	160													6/23						
5				5.15	8	9	9	26													6/24						
6				6.00	50	20	50	20													6/25						
7				7.00	50	30	50	30													6/26						
8				8.00	18	32	50	120													6/27						
9				9.00	50	50	50	50													6/28						
10				10.15	7	9	10	26													6/29						
11				11.00	50	30	50	30													6/30						
12				12.00	50	40	50	40													7/1						
13				13.00	50	0	50	0																			
14				14.00	50	90	50	90																			
15				15.00	17	33	50	120																			
16				16.00	31	19	50	140																			
17				17.00	50	10	50	10																			
18				18.15	50	50	50	100																			
19				19.15	8	5	3	16																			
20				20.00	50	20	50	20																			
21				21.15	9	8	8	25																			
22				22.15	9	12	11	32																			
23				23.00	50	0	50	0																			
			23.00	50	0	50	0																				

土質ボーリング柱状図（中BV-2）

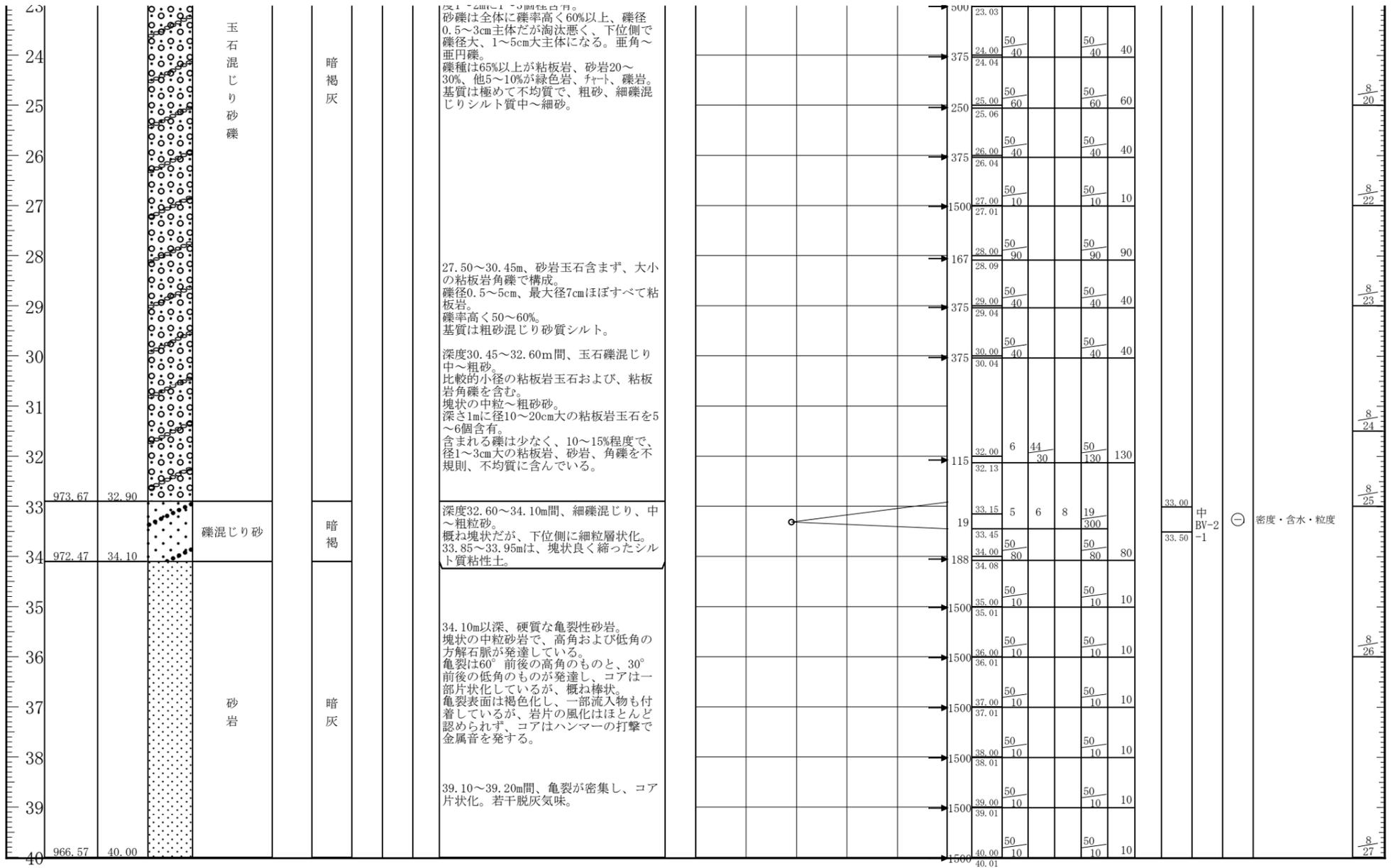
調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		中BV-2		調査位置		北緯	
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者		使用機種		試錐機		ポンプ	
孔口標高		T. P. 1006.57m		角度		180° 上下 90°	
総削孔長		40.00m		方位		北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	
		地盤勾配		水平0°		鉛直 90°	
		エンジン		ヤンマーNFD13		ポンプ MS753	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	深 度 (m)	試料採取番号	採取方法	室内位置試験	削孔月日								
												深度 - N値図											深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				
1										径10cm~最大100cmの玉石を含む礫率の高い粘板岩角礫で構成される不規則、不均質な砂礫。砂層やシルト質粘土層を複数挟在する。	07/30	1.15	1	2	2	5									7/30					
2										深度0.00~0.30m間、玉石混じり粘土質シルト。直径7cmの砂岩玉石を含む、細礫混じり腐植質粘土質シルト。	08/03 2.25	1.45																		
3										深度0.30~10.90m間、主に径10~20cm、最大径30cmの玉石を含む均質な砂礫。1~2m間に玉石を1~3個程度含有する。岩種は砂岩60%以上、粘板岩20~30%、他に赤色チャートを若干混入する。砂礫は淘汰悪く、概ね径1~4cmの円~角礫を主体とするが、円磨度、礫率(35~60%)とも変化が激しい。礫種は、粘板岩60%、砂岩30%、礫岩、赤色チャート、緑色岩10%。基質は不均質な粗砂混じりシルト質砂。	08/04 3.35 08/03 3.40	2.15	7	1	1	9														
4											08/02 3.45	3.15	2	2	3	7											8/1			
5											08/04 4.45	3.45	4.15	11	9	17	37										8/2			
6											08/04 6.00	4.45	5.00	50		50											8/2			
7											08/04 6.19	5.02	6.00	19	31	90	50										8/3			
8											08/04 7.00	6.19	7.00	13	37	60	50										8/3			
9											08/04 8.00	7.16	8.00	50	90	90	50										8/4			
10											08/04 9.00	8.09	9.00	50	10	10	50										8/4			
11											08/04 10.00	9.01	10.00	50	20	20	50										8/4			
12											08/04 11.15	10.02	11.15	2	3	8	13										8/5			
13											08/04 11.45	11.15	11.45	50		50											8/5			
14											08/04 12.00	11.45	12.00	50	60	60	50										8/6			
15	991.97	14.60									08/04 13.00	12.06	13.00	50	30	30	50										8/6			
16	990.57	16.00									08/04 13.03	13.03	14.15	8	11	11	30										8/6			
17											08/04 14.15	14.15	14.45	3	4	4	11										8/7			
18											08/04 15.15	14.45	15.15	50		50											8/7			
19											08/04 16.00	15.15	16.00	50	20	20	50										8/8			
20											08/04 16.02	16.00	16.02	50		50											8/8			
21											08/04 17.00	16.02	17.00	50	20	20	50										8/9			
22											08/04 18.00	17.02	18.00	50	40	40	50										8/9			
23											08/04 18.04	18.04	19.00	50		50											8/10			
24											08/04 19.00	19.02	19.02	50	20	20	50										8/10			
25											08/04 20.15	19.02	20.15	18	32	40	50										8/11			
26											08/04 20.29	20.15	20.29	24	26	50	150										8/11			
27											08/04 21.15	20.29	21.15	50		50											8/18			
28											08/04 22.00	21.15	22.00	50	80	80	50										8/18			
29											08/04 22.08	22.00	22.08	50		50											8/19			
30											08/04 23.00	22.08	23.00	50	30	30	50										8/19			
31											08/04 23.03	23.00	23.03	50		50											8/19			
32											08/04 24.00	23.03	24.00	50	40	40	50										8/19			



土質ボーリング柱状図（中BV-3）

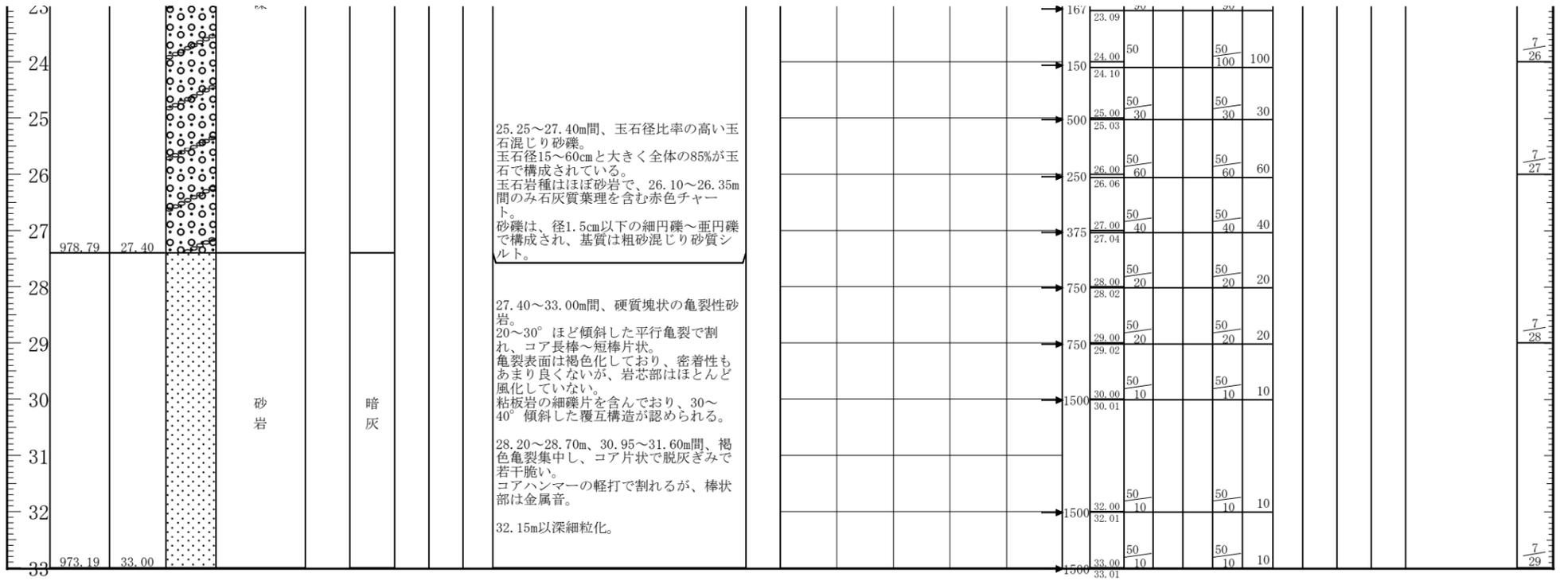
調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		中BV-3		調査位置		北緯	
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者		使用機種		エンジン		ポンプ	
孔口標高	T. P. 1006.19m	角	180° 上 90° 下	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	33.00m			試錐機	鉦研OP-1		ポンプ
				エンジン	ヤンマーNFD13		MS753

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日													
												深度 - N値図								深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試料番号	採取方法					
1	1003.69	2.50	玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫	暗褐色					0.00~0.25m間、細礫粗砂混じり粘性土シルト。含水率やや高め、比較的均質。草草根混入。 0.25~2.50m間、玉石混じり砂礫。径12cm砂岩。玉石0.60mに分布。砂礫は礫径比較的小さく、0.5~2cm主体、最大径3.5cm、亜角~亜円礫主体で、礫種は概ね粘板岩か砂岩。基質は粗砂混じり砂質シルトで含水率は高い。	07/13 1.20 07/14 2.35	8	1.15	4	2	2	8	300														
2												13	2.15	5	4	4	13	300														
3			礫混じり砂	礫混じり砂	暗褐色					2.50~4.55m間、含水率の高い礫混じり層状砂。径0.4~3.5cm角礫を含む層状のシルト~粗砂。径10cm砂岩玉石2.90mに分布。 2.50~2.65m、層状シルト~細砂。 2.65~3.50m、塊状礫混じり細~中砂。 3.50~3.65m、塊状細礫混じり粗砂。 3.65~4.50m、層状細砂~シルト。		10	3.15	4	3	3	10	300														
4	1001.69	4.50										6	4.15	1	2	3	6	300	4.00	中BV-3-1	密度・含水・粒度			7/13								
5												167	5.00	50		50	90	90	4.50													
6										4.5~14.7m、淘汰の悪い不均質な玉石混じり砂礫。 玉石は径10~20cm主体で、最大径30cm、深度1~2mに2~3個程度含有。岩種は砂岩70%以上、粘板岩25%他、緑色岩を含む。 砂礫は、径0.5~3cmの亜角~亜円礫が主体だが、淘汰悪く最大径6cm。礫種は、粘板岩50~60%、砂岩40%他、緑色岩、チャートを若干含有する。 基質は、シルト混じりの中~粗砂で、淘汰悪く不均質。		83	6.00	21	29	80	50	180	180													
7												68	7.00	17	23	10	50	220														
8												88	8.00	14	36	70	50	170														
9												94	9.00	26	24	60	50	160														
10												68	10.00	14	20	16	50	220														
11												167	11.00	50		50	90	90														
12												68	12.00	21	14	15	50	220														
13										11.00~14.70m、礫の円磨度高くなく円礫主体。(玉石も円磨度高い感じ)		100	13.00	21	29	50	50	150														
14												750	14.00	50		50	20	20														
15	991.49	14.70								14.75~16.30m間、層状粗砂~中~細砂質シルト。 層厚10~20cmだが、層内は塊状で淘汰良くなく葉理等見えない。		8	15.15	2	3	3	8	300	15.00	中BV-3-2												
16	989.89	16.30	シルト質砂	シルト質砂	暗褐色							150	16.15	50		50	100	100	15.50													
17												500	17.15	50	30		50	30														
18												188	18.00	50	80		50	80														
19												750	19.00	50	20		50	20														
20										16.30~25.25m間、淘汰の悪い玉石混じり砂礫。 玉石径、分布ともに不規則不均質で、玉石径10~70cm、主に砂岩で他粘板岩、チャート。 砂礫は、径0.5~3cm、最大径5cmの亜角~亜円礫で礫率高く60~40%。 礫種は、砂岩、粘板岩がほとんどで、チャート、緑色岩も若干含んでいる。 基質は、不均質で淘汰の悪い粗砂混じり砂質シルト。		250	20.00	50	60		50	60	60													
21												750	21.15	50	20		50	20														
22												250	22.00	50	60		50	60	60													
23												167	23.00	50	90		50	90	90													
24												100	24.00	50		50	100	100														



ボーリング柱状図 (H25中ノ宿3)

調査名

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	H25中ノ宿3	調査位置	静岡市葵区内			北緯	35° 22' 45.34"				
発注機関					調査期間	平成 25年 11月 15日 ~ 25年 11月 20日			東経	138° 12' 26.58"	
調査業者名					現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	1000.2m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	D0-D		
総掘進長	9.00m					エンジン	ヤンマー製 NFD90	ポンプ	BG-3C		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 最大コア長 R Q D [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(ルジオン標準貫入)試験		室内試験 ()	掘進状況														
															(P~QN値~深度) 図	N 値		掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)						
1				埋土・砂礫	暗灰						φ10~30mmの角礫主体。 礫は砂岩主体。 GL. -0.10~-0.15m間、コンクリート塊。 GL. -2.10~-2.80m間、長さ53cmのコンクリート塊。			11/20 4.70	1.15 1.45 2.10 2.14	(10, 5)		2.10 2.14														
2	997.30	2.90																														
3				玉石混じり砂礫	暗灰						(河床堆積物) φ40~90mmに 最大礫はφ250mm。 礫は砂岩主体。緑色岩、粘板岩も混入。				3.15 3.45 4.15 4.45 5.00 5.03 6.15 6.25 7.15 7.22 8.00 8.00 9.15 9.34	(4, 1)	(4, 7)		7.15 7.22													
4																																
5																																
6																																
7																																
8																																
9	991.20	9.00																														

土質ボーリング柱状図（紅BV-1）

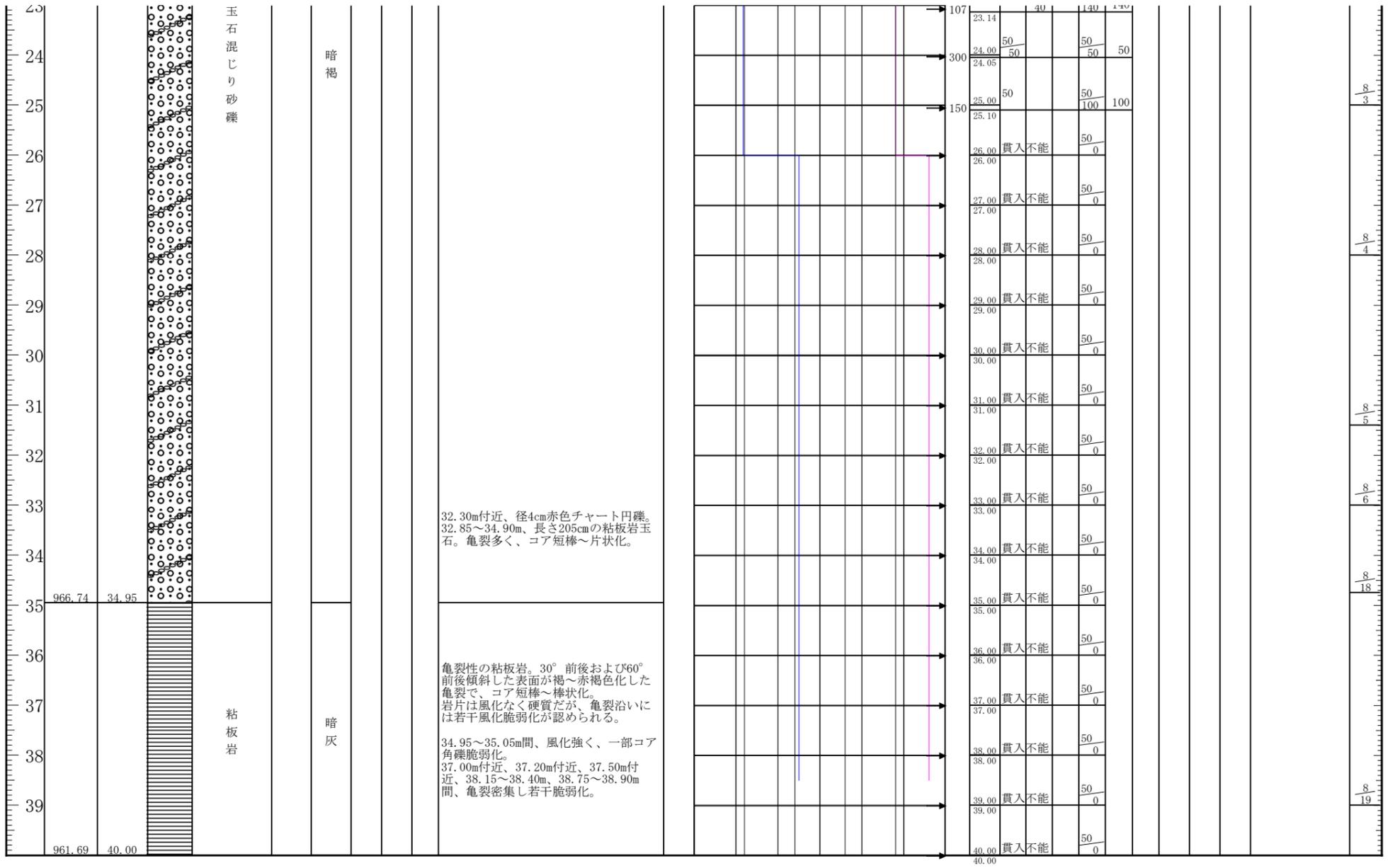
調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		紅BV-1		調査位置		北緯	
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者		使用機種		試錐機		ポンプ	
孔口標高		T. P. 1001.69m		エンジン		ヤンマーNFD12	
総削孔長		40.00m		ポンプ		ヤンマーCP65	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日								
												N	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量 (m)	深 度 (m)	試料番号	採取方法				
1	1000.09	1.60	砂礫	砂礫	暗褐灰					深度0.00~0.10m、落葉・腐植土。深度0.10~1.60m、礫混じり砂質シルト。礫径小さく概ね径3cm以下の粘板岩、砂岩角礫。砂質シルトは細礫、粗砂を多く含み、淘汰悪く不均質。	07/20 1.40	25	1.15	10	8	7	25	300									
2	998.89	2.80	玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫	暗褐					淘汰の悪い玉石混じり砂礫。径8cm以下の砂岩玉石含み礫率高く60%程度。基質は同様に淘汰悪く、含水率の高い粗砂混じり砂質シルト。		12	2.15	5	4	3	12	300									
3	998.09	3.60	砂	砂	褐					深度2.70~3.55m、淘汰の良い塊状の細砂。礫をほとんど含まず、下部には葉理発達。	07/21 4.20	6	3.15	2	2	2	6	300	3.00	紅BV-1-1	○	密度・含水・粒度	7/20				
4											07/21 4.20	8	4.15	2	3	3	8	300	3.50	紅BV-1-1	○	密度・含水・粒度	7/20				
5											08/18 4.30	58	5.15	13	18	19	50	260	5.00	紅BV-1-2	○	密度・含水・粒度	7/21				
6											08/18 4.30	100	6.05	39	11	50	150	150	6.50	紅BV-1-2	○	密度・含水・粒度	7/21				
7											08/18 4.30	100	7.15	1	49	50	150	150									
8											08/18 4.30	20	8.15	5	6	9	20	300									
9											08/18 4.30	125	9.05	38	12	20	50	120	120								
10											08/18 4.30	214	10.05	50	70	50	70	70									
11	990.69	11.00									08/18 4.30	12	11.15	3	4	5	12	300	11.00	紅BV-1-4	○	密度・含水・粒度	7/23				
12											08/18 4.30	25	12.15	8	10	7	25	300	11.50	紅BV-1-4	○	密度・含水・粒度	7/23				
13	988.39	13.30	礫混じり砂	礫混じり砂	褐灰					11.00~13.30m間、礫、不片、シルト層を挟む層状シルト質中粒砂。11.00~11.80m、シルト質中粒砂。深度10cm毎程度に直物片混入。11.80~12.80m、20cm以下の細礫混入。全体に不均質塊状。12.80~12.95m、塊状の中粒~細粒砂。下位方向に粗粒化。12.67m付近、木片、細礫混入。13.00m付近、径2~3cmの円礫混入。		36	13.15	11	10	15	36	300									
14												75	14.00	20	30	50	200	200									
15												15.00	貫入不能			50	0										
16												75	16.05	22	28	50	200	200									
17												214	17.00	50	70	50	70	70									
18												18.00	貫入不能			50	0										
19												19.00	貫入不能			50	0										
20												20.00	貫入不能			50	0										
21												167	21.00	50	90	50	90	90									
22												500	22.00	50	30	50	30	30									
23												107	23.00	24	26	40	50	140	140								
24												107	24.00	50	50	50	50	50									



土質ボーリング柱状図（紅BV-2）

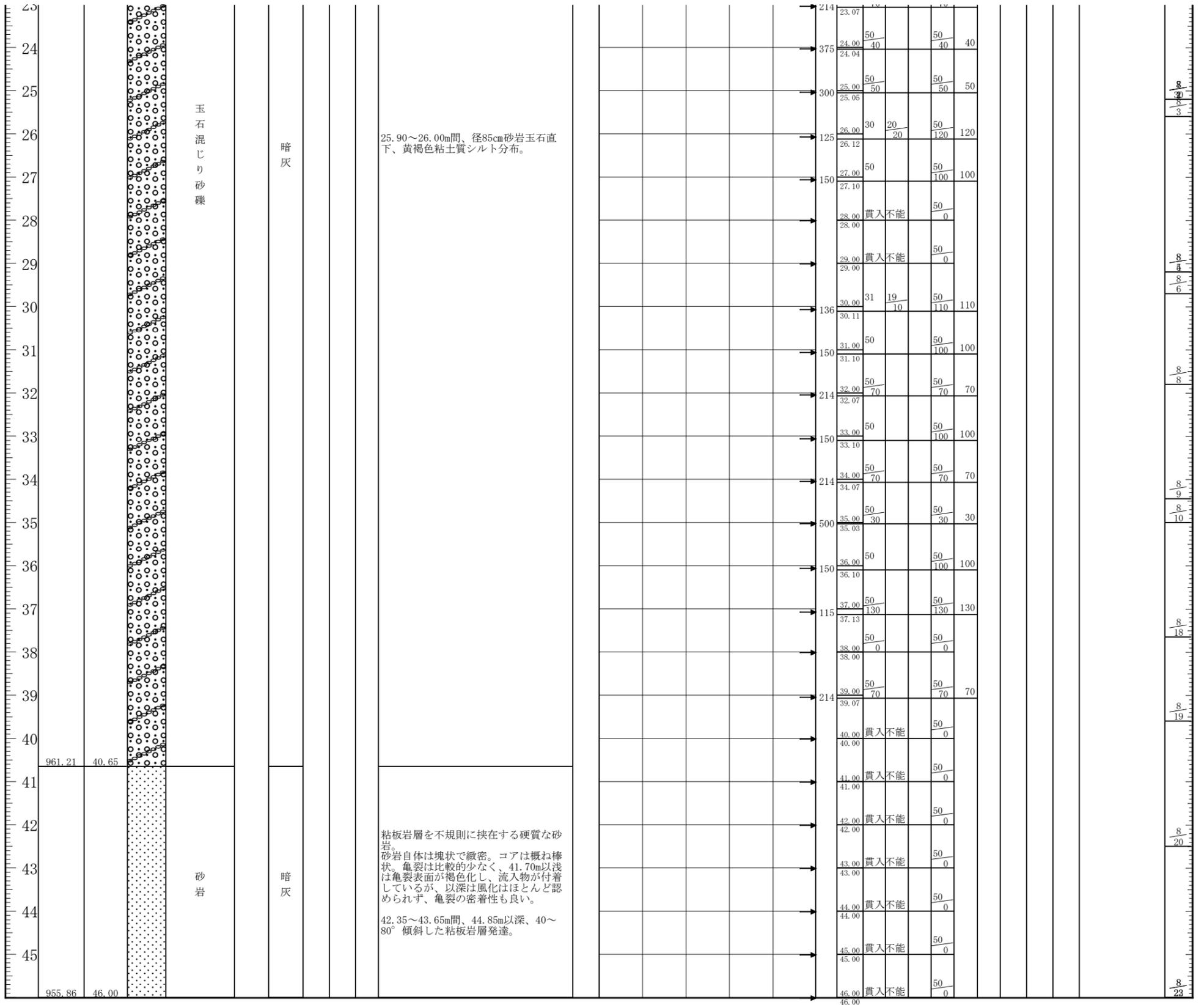
調査名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	紅BV-2	調査位置				北緯								
発注機関	東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所				調査期間	2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日			東経					
調査業者名				主任技師				現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	T. P. 1001.86m	角度			方位			地盤勾配			使用機種	試錐機 鈦研OP-1		
総削孔長	46.00m				エンジン	ヤンマーNFD12			ポンプ	ヤンマーCP65				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室原位試験	削孔月日							
												深度 (m)	N	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量	深度 (m)	試料番号	採取方法			
1				礫混じり砂		暗褐色				0.00~0.40m、礫混じり腐植質シルト。礫径は2.5cm以下。 0.40~0.75m、礫混じり砂質シルト。径3cm以下の角礫を含み、酸化した金属片多々混入。コア全体が赤褐色化。極めて不均質。 0.75~1.20m、暗灰色砂質土。径0.5cm以下の細礫を含み、基質は粗砂混じり、中粒砂質シルト。 1.20~2.10m、礫混じりシルト質中砂 1.40~1.70m、礫径0.5~1cm不均質に混入。1.70mに植物片混入。 1.70m~、均質なシルト質中粒砂。	07/21 2.00	7	1.15	3	2	2	7									
2	999.76	2.10		礫混じり砂		暗褐色					07/22 2.90	35	2.15	6	8	21	35									
3				礫混じり砂		暗褐色					07/23 07/28 07/29	88	3.00	25	25	70	50									7/21
4				玉石混じり砂礫		暗褐色						75	4.00	22	28		50									
5				玉石混じり砂礫		暗褐色						71	5.00	15	17	18	50									
6				玉石混じり砂礫		暗褐色						6.00	貫入不能			50										
7				玉石混じり砂礫		暗褐色						7.00	貫入不能			50										
8				玉石混じり砂礫		暗褐色						375	8.00	50		50										
9				玉石混じり砂礫		暗褐色						150	9.00	50		50										
10				玉石混じり砂礫		暗褐色						375	10.00	50		50										
11	990.66	11.20		シルト質砂		暗褐色						9	11.15	4	3	2	9									
12	989.66	12.20		シルト質砂		暗褐色						33	12.15	10	11	12	33									
13				礫混じり砂		暗褐色						100	13.00	25	25	50	50									
14				礫混じり砂		暗褐色						300	14.00	貫入不能			50									
15				礫混じり砂		暗褐色						375	15.00	50		50										
16				玉石混じり砂礫		暗褐色						107	16.00	50		50										
17				玉石混じり砂礫		暗褐色						83	17.00	20	30	40	50									
18				玉石混じり砂礫		暗褐色						150	18.00	21	29	80	50									
19				玉石混じり砂礫		暗褐色						250	19.00	50		50										
20				玉石混じり砂礫		暗褐色						115	20.00	貫入不能			50									
21				玉石混じり砂礫		暗褐色						214	21.00	50		60	60									
22				玉石混じり砂礫		暗褐色						115	22.00	30	20	30	50									
23				玉石混じり砂礫		暗褐色						214	23.00	50		70	70									
24				玉石混じり砂礫		暗褐色						214	24.00	50		40	40									



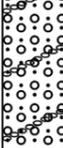
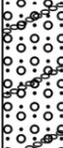
土質ボーリング柱状図（紅BV-3）

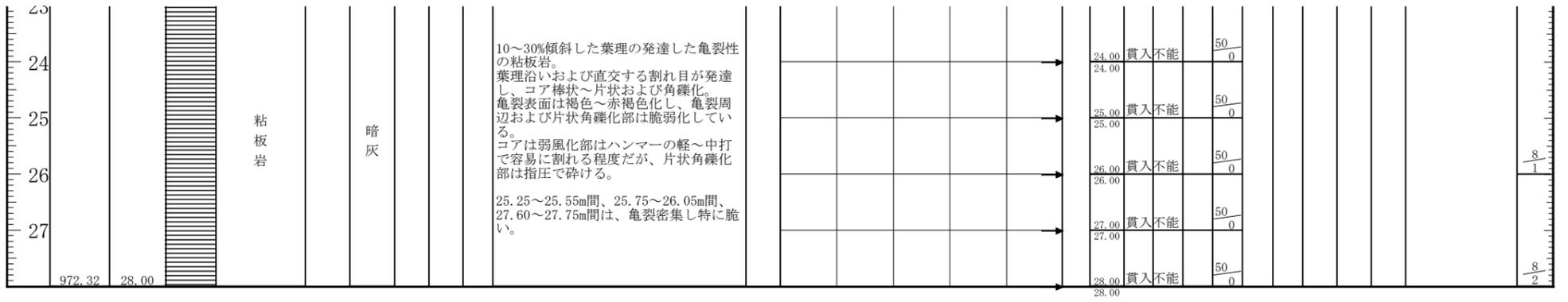
調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		紅BV-3		調査位置				北緯					
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡 工事事務所				調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日		東経			
調査業者名				主任技師				現代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高		T. P. 1000.32m		方位				地盤勾配				使用機種	
総削孔長		28.00m						試錐機		鉦研OP-1		エンジン	
										ポンプ		ヤンマーCP30	

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	地 質 時 代 名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	深 度 (m)	試料採取番号	採取方法	室内位置試験	削孔月日					
												深度-N値図											100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	深 度 (m)	試料採取番号
1				玉石混じり砂礫						砂層を挟在する不均質な玉石混じり砂礫。玉石径は比較的小さく、10~20cm主体。概ね砂岩、粘板岩。含有率は深度1mに2~4個程度。0.00~0.10m間、腐植質の礫質土。径1.5~3cmの角礫含有。0.10~4.10m間、廃棄物塊を含む不均質な砂礫。1.70~12.00m、2.65~3.90m、コンクリート塊。砂礫は、径0.5~5cmの亜円礫を含み、基質は砂質シルトで極めて不均質。	07/23 3.01 07/20 3.84 07/27 既観	10	1.15	3	3	4	10										7/19
2				玉石混じり砂礫								13	2.15	2	7	4	13									7/20	
3				玉石混じり砂礫								4	3.00	貫入不能			50										
4				玉石混じり砂礫								5	4.00	貫入不能			50										
5				玉石混じり砂礫								6	5.00	50	50		50	50									
6				玉石混じり砂礫								7	6.15	13	13	24	50	270									
7				玉石混じり砂礫								8	7.15	16	10	8	34										
8				玉石混じり砂礫								9	8.15	13	10	15	38										
9				玉石混じり砂礫								10	9.15	50	50		50	50									
10				玉石混じり砂礫								11	10.15	50	70		50	70									
11				玉石混じり砂礫								12	11.15	7	6	7	20										
12				玉石混じり砂礫								13	12.00	14	36	40	50	140									
13				玉石混じり砂礫								14	13.15	18	32	90	50	190									
14				玉石混じり砂礫								15	14.15	8	6	10	24										
15	984.92	15.40		シルト質砂								16	15.15	18	10	16	44										
16				シルト質砂								17	16.15	3	3	4	10										
17				シルト質砂								18	17.15	1	2	1	4										
18	981.92	18.40		玉石混じり砂礫								19	18.15	3	4	4	11										
19				玉石混じり砂礫								20	19.15	12	15	15	42										
20				玉石混じり砂礫								21	20.00	貫入不能			50										
21				玉石混じり砂礫								22	21.00	貫入不能			50										
22				玉石混じり砂礫								23	22.00	50			50	50									
23	977.62	22.70		玉石混じり砂礫								24	22.05	貫入不能			50										
24				玉石混じり砂礫								25	24.00	貫入不能			50										



土質ボーリング柱状図（紅BV-4）

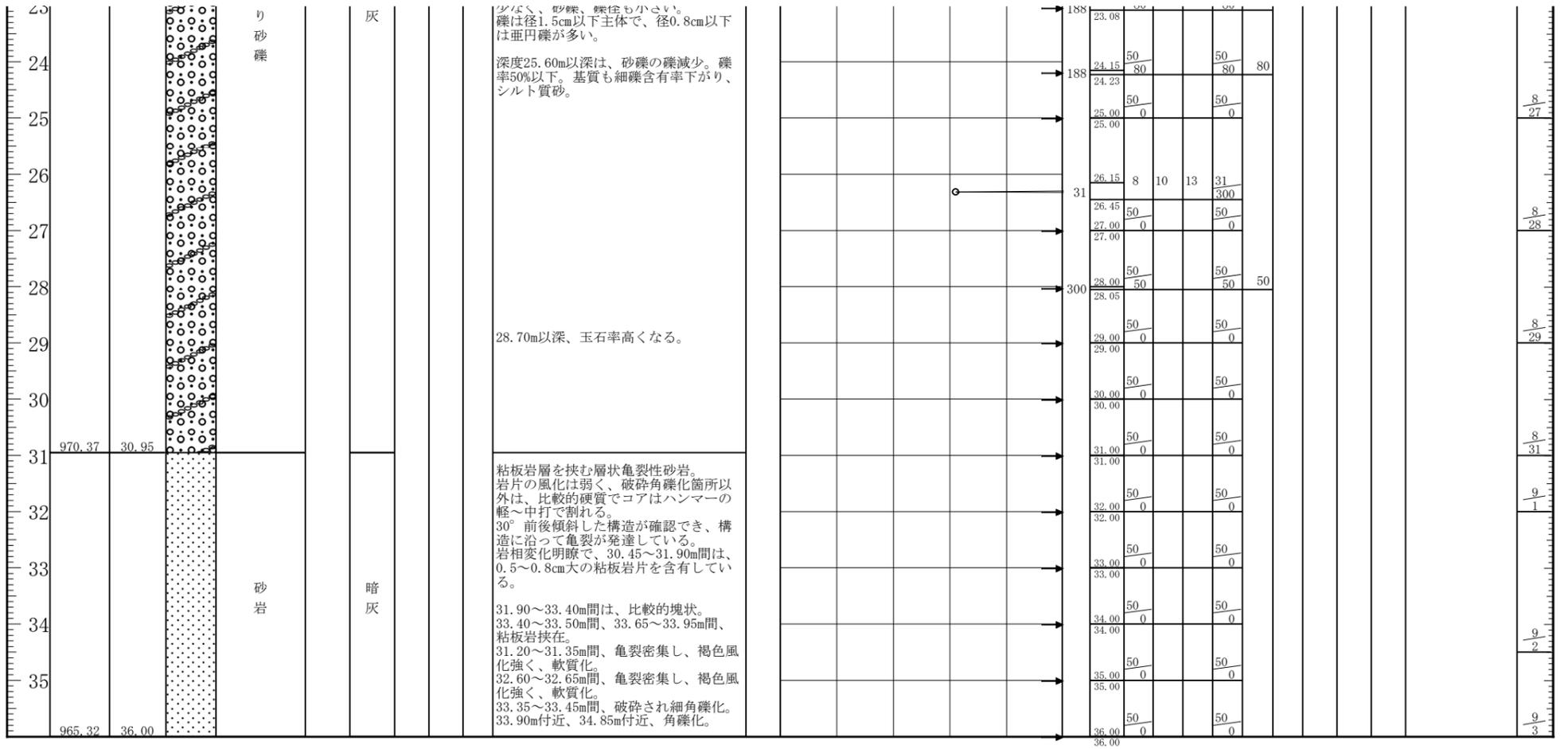
調査名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	紅BV-4	調査位置				北緯	
発注機関	東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所				調査期間	2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日	
調査業者名	主任技師			現代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	T. P. 1001.32m	角	180° 上下 90° 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	36.00m	使用機種	試錐機	鉦研OP-1		エンジン	ヤンマーNFD12
					ポンプ	OS-40	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日					
												深度 (m)	N	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量	深	試料番号	採取方法	
1			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗灰				砂層を挟在する淘汰の悪い不均質な砂礫。玉石は概ね径10~30cmだが、最大径100cm。砂礫は礫率高く、角礫~亜円礫で構成。基質は細礫、粗砂を含む砂質シルト。深度0.00~0.35m間、径0.8~1cm大の円礫からなる淘汰の良い砂利。深度0.35~3.35m間、淘汰の悪い玉石混じり砂礫。	08/05 3.40		10	1.15	4	4	2	10/300				8/4		
2			礫混じり砂	礫混じり砂		褐				深度3.35~5.30m間、不明瞭な葉理の発達する互層状のシルト質細粒砂および小径の砂礫。シルト質砂層は、3.35~3.75m、4.75~5.25m間、淘汰良く比較的均質で一見塊状。小径の砂礫は、3.75~4.75m間で、細礫主体、径1~2cm大の角礫を不規則に混入。基質は均質なシルト質細粒砂。			7	3.15	4	2	1	7/300				8/5		
3	998.02	3.30																						
4			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗灰				玉石径比較的小さく、最大でも径15cmで、深度1mあたり5~7個ほど含有。岩種は、砂岩60%、粘板岩30%、緑色岩10%。砂礫は礫率高く、50~60%で淘汰悪く不均質。ほぼ角礫で構成され、礫種は粘板岩60%、砂岩30%、残り10%が緑色岩およびチャート。基質は、細礫、粗粒砂を多量に含む、淘汰悪く不均質な砂質シルト。	08/08 8.80												8/6	
5	996.02	5.30								深度5.30~12.70m間、淘汰悪く不均質な玉石混じり砂礫。玉石は径10~30cm大で、深度1mあたり2~3個含有。岩種は、砂岩50%、粘板岩40%、緑色岩10%。														
6			シルト混じり砂	シルト混じり砂		暗褐				深度12.70~14.65m間、緩い腐食物、木片混じりシルト混じり細粒~中粒砂。比較的均質。12.85m付近、12.95m付近、13.70m付近、木片混入。13.70~13.80m間、13.90~14.00m間、14.50~14.60m間、木片集中。														
7			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗灰				深度14.65~16.00m間、玉石含有率の高い玉石混じり砂礫。玉石径10~15cm大で、深度1mに対し7個ほど。15.00~16.00m間は70%が玉石。砂礫は礫率50%前後、礫径0.5~4cmの角礫主体。礫種は粘板岩40%、砂岩30%、緑色岩およびチャートが各15%ほど。基質は、細礫粗粒砂混じりの砂質シルトで、淘汰悪く不均質。														
8										深度16.00~16.30m間、径1cm以下の円礫混じり細粒砂質シルト。														
9										深度16.30~30.95m間、淘汰悪く不均質な玉石混じり砂礫。玉石は径10~30cm大が主体だが、最大径100cm。岩種は、砂岩40%、粘板岩30%、緑色岩、チャート、礫岩各10%ほど。														
10	988.62	12.70																						
11			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐				砂礫は、礫径等一定せず、変化が大きいが、礫径は1~5cm大の角礫主体。礫種は粘板岩60%、砂岩30%、他10%が緑色岩およびチャート。基質は、細礫、細粒砂混じりの不均質な砂質シルト。径1mの玉石直下20.30~23.00m間は玉石少なく、砂礫、礫径も小さい。礫は径1.5cm以下主体で、径0.8cm以下は亜円礫が多い。														
12																								
13	986.72	14.60																						
14																								
15																								
16																								
17																								
18																								
19																								
20																								
21																								
22																								
23																								
24																								



ボーリング柱状図 (H28剃石)

調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	H28剃石		調査位置	静岡県静岡市葵区田代 大井川上流域 (剃石)			北緯	35° 22' 12.8"						
発注機関	東海旅客鉄道 (株) 中央新幹線建設部			調査期間	平成 28年 9月 27日 ~ 28年 10月 3日			東経	138° 12' 10.1"					
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者			ボーリング責任者						
孔口標高	+983.06m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	D0-D		ハンマー落下用具	半自動落下	
総掘進長	15.00m	度	0°	向				エンジン	NFD-12		ポンプ	MARUYAMA MS-154A		

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験					原位置試験	試料採取		室内試験 (掘進月日)
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深 (m)		試験名および結果	深 (m)	
1				埋土・礫混じり土砂	暗黒灰			(埋土) GL.-0.0~1.6m間、φ20~70mmの角礫主体。φmax80mm。基質は中粒砂~細礫。 GL.-1.6~2.80m間、φ3~20mmの粘板岩角礫主体。φmax50mm。基質は中粒~粗粒砂。	1.15	4	3	8/30	8		1.15		土密、ふろい、含水
2									2.15	13	11	13	37/30	37		2.45	
3				埋土・玉石混じり土砂	暗黒灰			(埋土) GL.-2.80~3.50m間、φ20~40mmの砂岩礫が多くなる。φmax100mm。	3.15	38	6	50/16	94		3.80		土密、降、水
4									3.31	3	2	3	8/30	8		4.00	
5				埋土・礫混じり土砂	暗黒灰			(埋土) φ3~20mmの粘板岩角礫主体。	4.15	3	2	3	8/30	8			土密、沈、水
5									4.45	2	1	2/14	5/34	4			
6				埋土・粘性土	暗灰			(埋土) シルト主体、少量の礫混入。 (河床堆積物) GL.-4.4~5.0m φ5~30mmの砂岩礫多い。基質は粗粒砂~細礫を主体。硬質礫主体。ハンマー打撃で金属音。 GL.-5.0~5.6m 中粒砂主体。φ20mmの礫含む。 GL.-5.6~6.9m 硬質な砂岩礫主体。細粒分少ない。	5.15	2	1	2/14	5/34	4			土密、ふろい、含水
6									5.49	2	2	1	5/30	5			
7				礫混じり土砂	暗灰	明灰		(河床堆積物) GL.-6.9~7.6m φmax60~70mmの玉石含む。硬質でハンマー打撃で金属音。 GL.-8m付近より、全体に基質部でも締まる。 GL.-7.6~8.0m φ200mmの玉石を含むが、φ10~30mの礫主体の部分もある。 GL.-8.0~14.0m -8~9m間、細礫が多く、φ5~10mmの粘板岩礫を含む。 -9~14m間、φ70~450mmの玉石を多く含む。礫はハンマー打撃で金属音。 -14m以深で礫径、上層と比較して小さくなるが、φmax80mm含む。全体に砂岩礫主体であるが、中~下部では粘板岩礫を含む。	6.15	2	2	1	5/30	5			土密、ふろい、含水
7									6.45	2	2	12	16/30	16			
8				玉石混じり土砂	暗灰	明灰		(河床堆積物) GL.-6.9~7.6m φmax60~70mmの玉石含む。硬質でハンマー打撃で金属音。 GL.-8m付近より、全体に基質部でも締まる。 GL.-7.6~8.0m φ200mmの玉石を含むが、φ10~30mの礫主体の部分もある。 GL.-8.0~14.0m -8~9m間、細礫が多く、φ5~10mmの粘板岩礫を含む。 -9~14m間、φ70~450mmの玉石を多く含む。礫はハンマー打撃で金属音。 -14m以深で礫径、上層と比較して小さくなるが、φmax80mm含む。全体に砂岩礫主体であるが、中~下部では粘板岩礫を含む。	7.15	2	2	12	16/30	16			土密、ふろい、含水
8									7.45	16	17	17	50/29	52			
9				玉石混じり土砂	暗灰	明灰		(河床堆積物) GL.-6.9~7.6m φmax60~70mmの玉石含む。硬質でハンマー打撃で金属音。 GL.-8m付近より、全体に基質部でも締まる。 GL.-7.6~8.0m φ200mmの玉石を含むが、φ10~30mの礫主体の部分もある。 GL.-8.0~14.0m -8~9m間、細礫が多く、φ5~10mmの粘板岩礫を含む。 -9~14m間、φ70~450mmの玉石を多く含む。礫はハンマー打撃で金属音。 -14m以深で礫径、上層と比較して小さくなるが、φmax80mm含む。全体に砂岩礫主体であるが、中~下部では粘板岩礫を含む。	8.15	16	17	17	50/29	52			土密、ふろい、含水
9									8.44	14	18	18	50/27	56			
10				玉石混じり土砂	暗灰	明灰		(河床堆積物) GL.-6.9~7.6m φmax60~70mmの玉石含む。硬質でハンマー打撃で金属音。 GL.-8m付近より、全体に基質部でも締まる。 GL.-7.6~8.0m φ200mmの玉石を含むが、φ10~30mの礫主体の部分もある。 GL.-8.0~14.0m -8~9m間、細礫が多く、φ5~10mmの粘板岩礫を含む。 -9~14m間、φ70~450mmの玉石を多く含む。礫はハンマー打撃で金属音。 -14m以深で礫径、上層と比較して小さくなるが、φmax80mm含む。全体に砂岩礫主体であるが、中~下部では粘板岩礫を含む。	9.15	14	18	18	50/27	56			土密、ふろい、含水
10									9.42	16	17	17	50/26	58			
11				玉石混じり土砂	暗灰	明灰		(河床堆積物) GL.-6.9~7.6m φmax60~70mmの玉石含む。硬質でハンマー打撃で金属音。 GL.-8m付近より、全体に基質部でも締まる。 GL.-7.6~8.0m φ200mmの玉石を含むが、φ10~30mの礫主体の部分もある。 GL.-8.0~14.0m -8~9m間、細礫が多く、φ5~10mmの粘板岩礫を含む。 -9~14m間、φ70~450mmの玉石を多く含む。礫はハンマー打撃で金属音。 -14m以深で礫径、上層と比較して小さくなるが、φmax80mm含む。全体に砂岩礫主体であるが、中~下部では粘板岩礫を含む。	10.15	16	17	17	50/26	58			土密、ふろい、含水
11									10.41	15	17	18	50/28	54			
12				玉石混じり土砂	暗灰	明灰		(河床堆積物) GL.-6.9~7.6m φmax60~70mmの玉石含む。硬質でハンマー打撃で金属音。 GL.-8m付近より、全体に基質部でも締まる。 GL.-7.6~8.0m φ200mmの玉石を含むが、φ10~30mの礫主体の部分もある。 GL.-8.0~14.0m -8~9m間、細礫が多く、φ5~10mmの粘板岩礫を含む。 -9~14m間、φ70~450mmの玉石を多く含む。礫はハンマー打撃で金属音。 -14m以深で礫径、上層と比較して小さくなるが、φmax80mm含む。全体に砂岩礫主体であるが、中~下部では粘板岩礫を含む。	11.15	50			50				土密、ふろい、含水
12									11.43	50			50				
13				玉石混じり土砂	暗灰	明灰		(河床堆積物) GL.-6.9~7.6m φmax60~70mmの玉石含む。硬質でハンマー打撃で金属音。 GL.-8m付近より、全体に基質部でも締まる。 GL.-7.6~8.0m φ200mmの玉石を含むが、φ10~30mの礫主体の部分もある。 GL.-8.0~14.0m -8~9m間、細礫が多く、φ5~10mmの粘板岩礫を含む。 -9~14m間、φ70~450mmの玉石を多く含む。礫はハンマー打撃で金属音。 -14m以深で礫径、上層と比較して小さくなるが、φmax80mm含む。全体に砂岩礫主体であるが、中~下部では粘板岩礫を含む。	12.05	2			2				土密、ふろい、含水
13									12.07	31	19	5	50/15	100			
14				玉石混じり土砂	暗灰	明灰		(河床堆積物) GL.-6.9~7.6m φmax60~70mmの玉石含む。硬質でハンマー打撃で金属音。 GL.-8m付近より、全体に基質部でも締まる。 GL.-7.6~8.0m φ200mmの玉石を含むが、φ10~30mの礫主体の部分もある。 GL.-8.0~14.0m -8~9m間、細礫が多く、φ5~10mmの粘板岩礫を含む。 -9~14m間、φ70~450mmの玉石を多く含む。礫はハンマー打撃で金属音。 -14m以深で礫径、上層と比較して小さくなるが、φmax80mm含む。全体に砂岩礫主体であるが、中~下部では粘板岩礫を含む。	13.15	50	6		50				土密、ふろい、含水
14									13.30	50	6		50				
15				玉石混じり土砂	暗灰	明灰		(河床堆積物) GL.-6.9~7.6m φmax60~70mmの玉石含む。硬質でハンマー打撃で金属音。 GL.-8m付近より、全体に基質部でも締まる。 GL.-7.6~8.0m φ200mmの玉石を含むが、φ10~30mの礫主体の部分もある。 GL.-8.0~14.0m -8~9m間、細礫が多く、φ5~10mmの粘板岩礫を含む。 -9~14m間、φ70~450mmの玉石を多く含む。礫はハンマー打撃で金属音。 -14m以深で礫径、上層と比較して小さくなるが、φmax80mm含む。全体に砂岩礫主体であるが、中~下部では粘板岩礫を含む。	14.05	6			6				土密、ふろい、含水
15									14.11	31	19	9	50/19	79			

土質ボーリング柱状図（削BV-1）

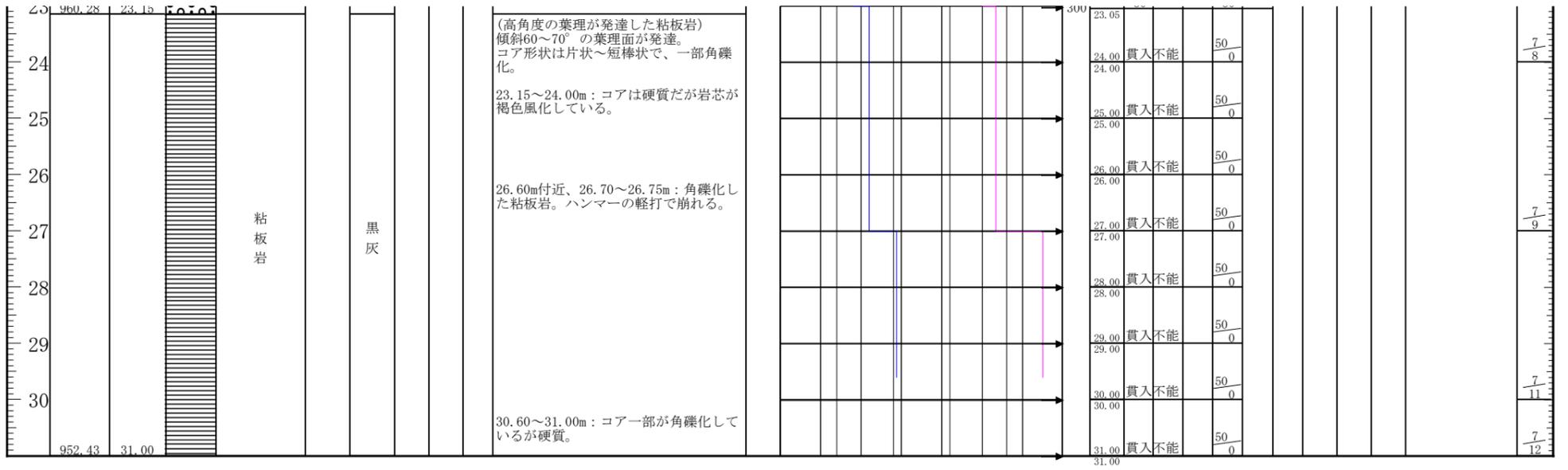
調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		削BV-1			調査位置				北緯				
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡			調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日			東経			
調査業者名		T. P. 983.43m			主任技師		現代場人		コア鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高		T. P. 983.43m		方位		地盤勾配		使用機種		試錐機		エンジン	
総削孔長		31.00m		方位		地盤勾配		使用機種		ポンプ		ヤンマーCP30	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内位置試験	削孔月日		
												N 値	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)			試料採取番号	
1			○	砂礫		灰				砂礫は直径0.5~4.0cmの亜円礫が主体。礫率は全体の40~50%。礫種は、粘板岩80%、砂岩20%。基質は細礫粗砂混じり砂粘板岩。 0.00~3.00m: 全体的にスライム状で礫率は20%。砂礫の直径は0.5~2.0cm。	06/27	10	1.15	5	3	2	10	1.00	削BV-1-1	○	密度・含水・粒度	6/23
2			○									10	1.45									
3	979.93	3.50	○									10	2.15	5	2	3	10					
4			○									7	2.45									
5			○									7	3.15	2	3	2	7					
6			○									13	3.45									
7			○									13	4.15	3	3	7	13					
8			○									100	4.45									
9			○									100	5.15	31	19	50	150					
10			○									58	5.30									
11			○									100	6.15	9	6	35	50	260				
12			○									100	6.41									
13			○									100	7.15	23	27	50	150					
14			○									94	7.30									
15			○									94	8.15	12	38	60	160					
16			○									33	8.31									
17			○									33	9.15	12	10	11	33					
18			○									33	9.45									
19			○									13	10.15	8	15	10	33					
20			○									13	10.45									
21			○									150	11.15	4	5	4	13					
22			○									150	11.45									
23	960.28	23.15	○									150	12.00	50			50	100				
24			○									150	12.10									
25			○									45	13.15	29	10	6	45					
26			○									28	13.45									
27			○									28	14.15	9	9	10	28					
28			○									150	14.45									
29			○									150	15.00									
30			○									150	16.15	50			50	100				
31			○									150	16.25									
32			○									150	17.00									
33			○									150	18.10	50			50	100				
34			○									150	18.20									
35			○									150	19.00									
36			○									150	19.00									
37			○									25	21.00									
38			○									25	21.00									
39			○									25	22.15	6	7	12	25					
40			○									300	22.45									
41			○									300	23.00	50			50					
42			○									300	23.05									
43			○									300	24.00									

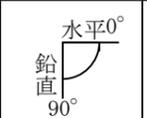


土質ボーリング柱状図（削BV-2）

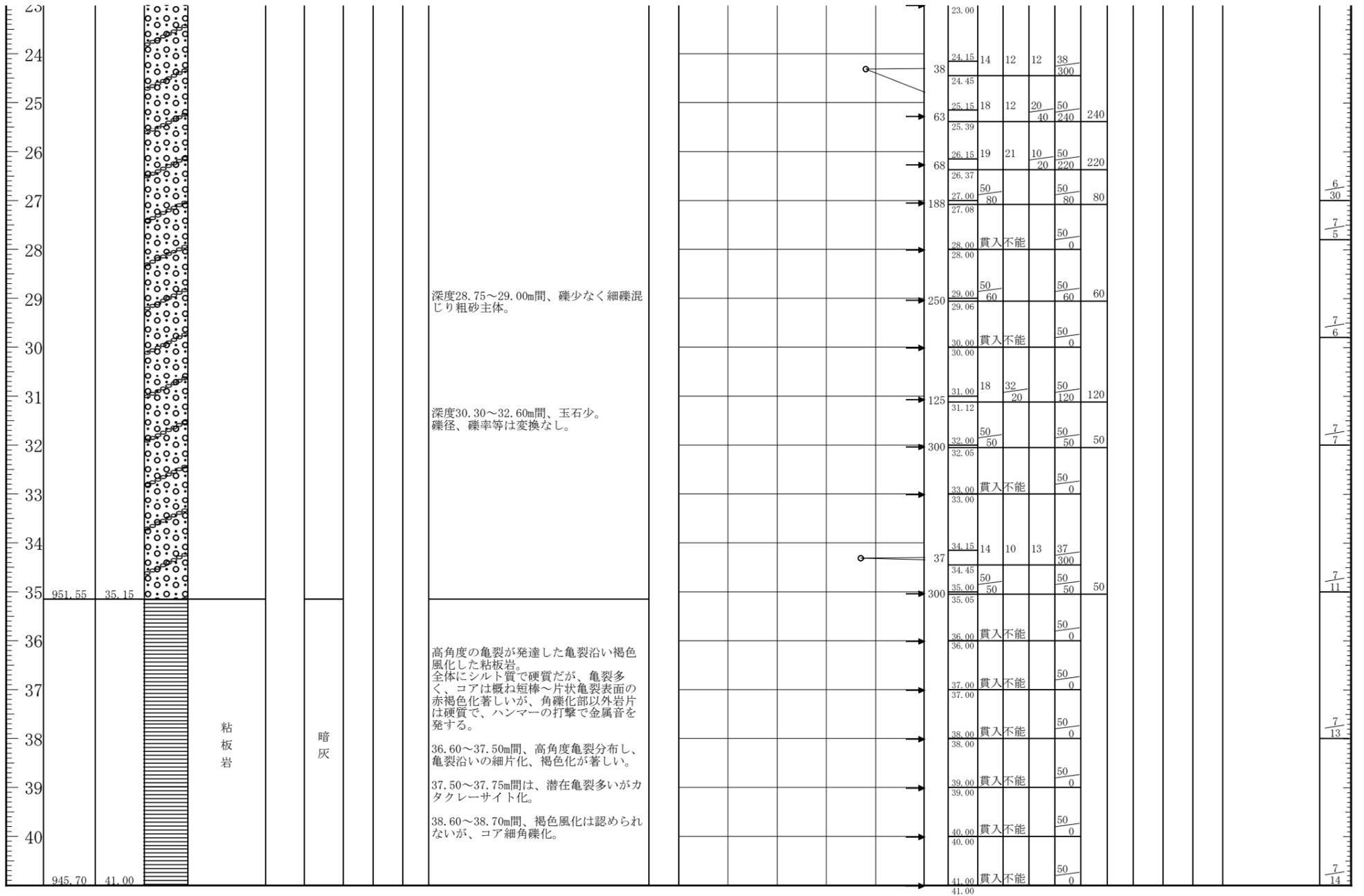
調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		削BV-2		調査位置				北緯			
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日		東経			
調査業者名				主任技師				現場代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者											
孔口標高		T. P. 986.70m		方位				地盤勾配			
総削孔長		41.00m		使用機種		試錐機		エンジン		ポンプ	
						鉦研OP-1		ヤンマーNFAD12		ヤンマーCP30	

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	地 質 時 代 名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取	室 内 試 験	削 孔 月 日						
												深度 - N値図			N	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数				打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試 料 番 号	採 取 方 法
1										不規則に玉石を混入する不均質な砂礫。玉石の比率は、13.45m以浅で低く、玉石径もやや小さい。玉石含有率は、径10~40cm大が3~4mに1個程度。岩種は硬質な粘板岩および砂岩で一部礫岩。		22	1.15	7	8	7	22	300				6/21				
2												10	2.15	3	4	3	10	300								
3												10	3.15	3	4	3	10	300								
4										砂礫は粘板岩角礫を主体とする高礫率、不規則、不均質で全体に緩い。礫率45~60%程度で、径4mm~5cm大、粘板岩多く70%ほど、他砂岩およびチャートが各10%前後。ほぼ角礫のみで構成され円礫はほとんど含まない。基質は粗砂、細礫を多量に含む砂質シルト。		23	4.15	7	8	8	23	300						6/22		
5										深度0.00~0.20m間、細礫を多く含む砂質シルト。草草根混入。		11	5.15	3	3	5	11	300								
6										深度3.40~3.50m間、細礫混じり細砂。		8	6.15	2	3	3	8	300								
7										深度6.55~6.60m間、細礫混じり塊状細砂。		8	7.15	3	3	2	8	300								
8												150	8.15	50		50	100	100								
9												15	9.15	4	5	6	15	300								
10												65	10.15	8	19	23	50	230	230							
11												33	11.15	12	10	11	33	300								
12												68	12.15	8	17	25	50	220	220				6/24			
13												43	13.15	12	18	13	43	300								
14												300	14.15	50		50	50	50	50				6/25			
15										13.45~35.15間、玉石含有率のやや高い不均質な砂礫。玉石含有率は、径10~120cm大が1~2mに2~3個程度。岩種は、砂岩、硬質な粘板岩、一部チャート礫岩。		214	15.00	貫入不能		50	0	0	0	70				6/27		
16												214	16.00	50	70	50	70	70	70							
17										深度23.50~27.40m、30.30~32.60m間は、玉石少。砂礫は、粘板岩50~60%、砂岩30%前後他チャート、礫岩からなる径1~5cmの角礫~亜角礫主体で、一部円礫を含む(13.45m以浅より若干円磨されている)。上位砂礫同様、高礫率、不規則、不均質だが若干締っている。礫率は、45~68%、基質は、細礫、粗砂含有の砂質シルトで局所的に粘性土分に富み不均質。		375	17.00	貫入不能		50	0	0	0	0	40					6/28
18												375	18.00	貫入不能		50	0	0	0	0						
19												375	19.00	50	40	50	40	40	40	40						
20										深度17.60m付近、径6cm赤色チャート礫。		83	20.00	貫入不能		50	0	0	0	0						
21										深度21.90m付近、径3cm赤色チャート礫。		83	21.00	貫入不能		50	0	0	0	0						
22												83	22.15	12	38	80	50	180	180	180						
23												83	23.00	貫入不能		50	0	0	0	0						



土質ボーリング柱状図（削り3）

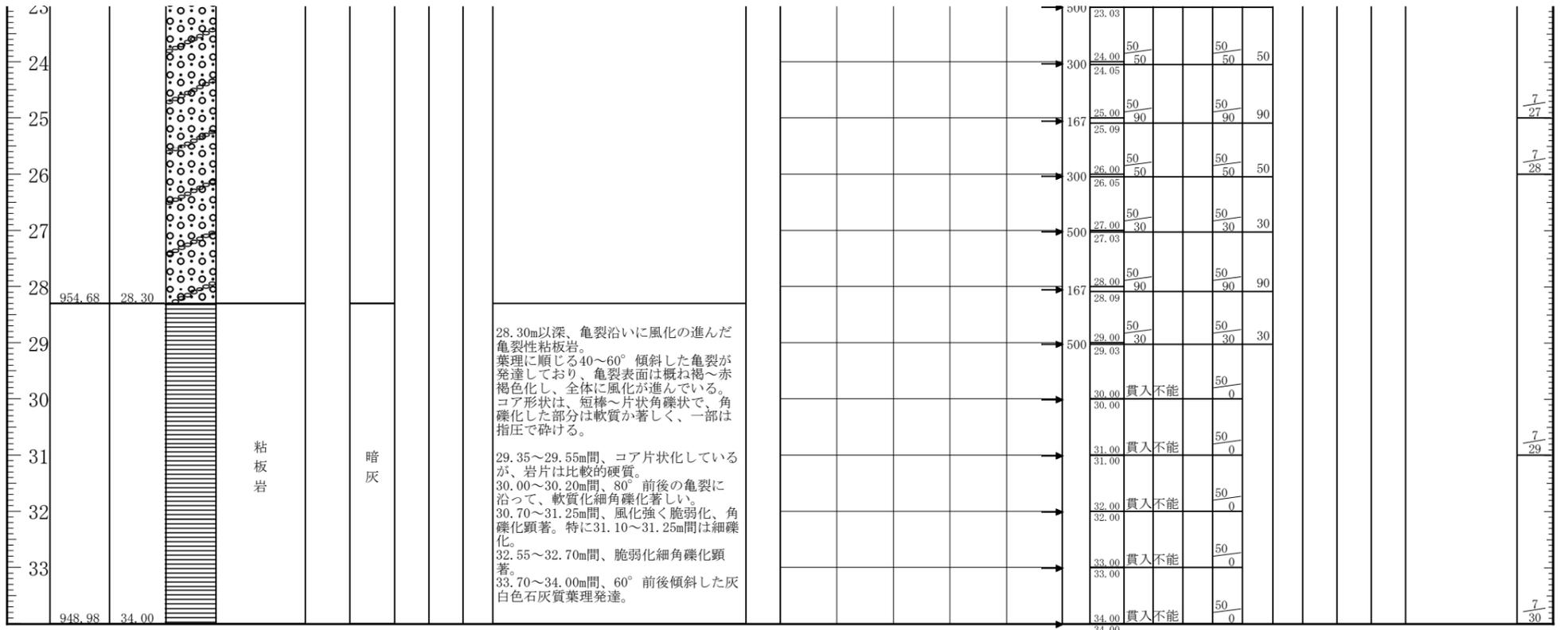
調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		削り3		調査位置				北緯			
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日		東経			
調査業者名				主任技師				現場代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者											
孔口標高		T. P. 982.98m		方位		北 0° 東 90° 南 180° 西 270°		地盤勾配		水平 0° 鉛直 90°	
総削孔長		34.00m		使用機種		試錐機		鉦研OP-1		ポンプ	
						エンジン					

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日								
												N値	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量	深 度 (m)	試料番号	採取方法				
1										径10cmから最大100cmの玉石を含有する淘汰の悪い不均質な砂礫。玉石は、径10~30cm大主体で、深度1~2mに1~2個程度含有。岩種は、砂岩が多く70%以上で、粘板岩20%、他に礫岩、緑色岩を若干含む。	07/28 6.64																
2										砂礫は、粘板岩および角礫を多く含み、径1~4cm大を主体とするが、淘汰悪く不均質。礫種は、粘板岩50~60%、砂岩30~40%、他チャート、緑色岩を若干含んでいる。礫率高く、45~60%。基質は、淘汰の悪い中~粗砂混じり砂質シルト同様に淘汰悪く不均質。	6/27 7.43																
3										0.00~0.80m間は、礫細粒で径5mm~2cm主体。腐植質で草木根混入。																	
4										0.00~6.00m間は、砂礫締めなく緩い。																	
5										1.70~1.80m間、コンクリート片。~2.80mで浅埋め戻し土。																	
6										12.45~18.90m間、玉石含有率高く、15.00~16.00m間、100cm塊状砂岩玉石。																	
7																											
8																											
9																											
10																											
11																											
12																											
13																											
14																											
15																											
16																											
17																											
18																											
19																											
20																											
21																											
22																											
23																											



土質ボーリング柱状図（削りBV-4）

調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		削りBV-4		調査位置		北緯	
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者		試錐機		エンジン		ポンプ	
孔口標高	T. P. 982.93m	角 度		方位		地盤勾配	
総削孔長	41.00m	使用機種	鉦研OP-1	エンジン	ヤンマーNFAD12	ポンプ	ヤンマーCP65

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	深 度 (m)	試料採取番号	採取方法	室内位置試験	削孔月日						
												深度 - N値図			N	深 度 (m)							100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量			
1										不規則に玉石を混入する不均質な砂礫。 玉石径は、10~300cmと変化大きく、含有率も変化するが、径10~30cmの玉石を1~2mに2~3個程度含有している。岩種は、径の大きなものは砂岩が多く(70%以上)、他は粘板岩と若干緑色岩を含む。		1.15	1	1	2	4	300									6/21		
2										深度0.00~8.50m間は、玉石少なく径も15cm以下で含有率も低い。砂礫は、礫径1~3cm程度の粘板岩、砂岩の亜角礫主体で、チャート、緑色岩も僅かに含む。若干円礫を含んでいる。		2.15	1	2	2	5	300											
3										礫率60%以上で、基質は淘汰悪く不均質な粗砂混じり砂質シルト。全体に極めて緩い。		3.15	3	6	15	24	300											
4										0.00~0.20m間には草木根混入。	06/22 5.00	4.15	12	38	50	180	180											
5											07/13 5.00	5.15	4	5	5	14	300											
6											07/02 5.00	6.15	4	3	4	11	300											
7											07/02 5.00	7.15	3	3	5	11	300											
8											07/02 5.00	8.15	3	5	4	12	300											
9											07/02 5.00	9.15	9	17	24	50	250	250										
10											07/02 5.00	10.00	貫入不能			50	0											
11											07/02 5.00	11.15	10	16	15	41	300											
12											06/28 5.00	12.15	12	14	16	42	300											
13											06/28 5.00	13.00	30	20	30	50	130	130										
14											06/28 5.00	14.00	50	40	50	40	40	40										
15											06/28 5.00	15.00	23	27	50	150	150	150										
16											06/28 5.00	16.00	50	30	50	30	30	30										
17											06/28 5.00	17.00	貫入不能			50	0											
18											06/28 5.00	18.00	50	80	50	80	80	80										
19											06/28 5.00	19.00	貫入不能			50	0											
20											06/28 5.00	20.00	貫入不能			50	0											
21											06/28 5.00	21.00	50	40	50	40	40	40										
22											06/28 5.00	22.15	32	18	20	50	120	120										
23											06/28 5.00	23.00	50	30	50	30	30	30										
24											06/28 5.00	24.00	50	60	50	60	60	60										

